

令和 7 年 10 月 29 日
堺 市

万崎建替公営住宅第二期建設工事の設計図書の訂正について（通知）

万崎建替公営住宅第二期建設工事の設計図書について、以下のとおり、一部訂正しますので、お知らせします。

現在、堺市ホームページに掲載されている書類は訂正済みですので、再度、ダウンロードしていただくか、お持ちの書類を訂正していただきますようお願いいたします。

なお、開札予定日時、入札書の提出期間の変更はありません。

ご迷惑をお掛けし、お詫び申し上げます。

1. 訂正箇所

- ・ 参考内訳明細書 直接工事費：P5、P72、P73、P84、P85、P86、P87、P94
共通仮設費（積上）：P3
- ・ 図面 A/007、A/011、A/145、A/146、A/147、A/148、A/149、A/155、
A/156、A/163、A/164

2. 訂正及び補足説明について

訂正後抜粋資料において、項目の訂正及び補足説明を行っている部分について、参考内訳明細書は黄色着色、図面は赤色雲マークで表現していますので、訂正前訂正後の参考内訳明細書及び図面を比較し、ご確認ください。

問 い 合 わ せ 先	担当課：建築都市局建築部建築課 電 話：0 7 2－2 2 8－7 4 2 7
----------------------------	--

図面正誤表

工事名称：万崎建替公営住宅第二期建設工事

図面No.	図面名称	訂正箇所	誤	正	備考
A/007	特記仕様書（N o 7）	15 左官工事 6 床コンクリートの直均し仕上げ	摘要なし（番号6に○印なし）	摘要あり（番号6に○印あり）	
A/011	特記仕様書（N o 1 1）	21 排水工事 1 屋外雨水排水 ・遠心力鉄筋コンクリート管	摘要あり（○印あり）	摘要なし（○印なし）	
A/145 ～ A/149 A/164	雨水排水計画平面図（全体） 雨水排水計画平面図（1／4） 雨水排水計画平面図（2／4） 雨水排水計画平面図（3／4） 雨水排水計画平面図（4／4） [参考]仮設計画図（STEP 2）	凡例（山留め） 凡例	鋼矢板工法（圧入工法）	鋼矢板工法（オーガー併用圧入工法）	
A/163	[参考]仮設計画図（STEP 1）	凡例	[山留]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計 L=268m、山留め高さ：H=8.0m	削除	
A/145 ～ A/149	雨水排水計画平面図（全体） 雨水排水計画平面図（1／4） 雨水排水計画平面図（2／4） 雨水排水計画平面図（3／4） 雨水排水計画平面図（4／4）	・ 凡例（山留め） ・ 雨水貯留槽【北】→J01→既設雨水幹線	・ 鋼矢板V-L型 自立型 計L=32.0m ・ 図中記載なし	・ 鋼矢板V-L型 自立型 計L=46.0m ・ Ab L=14.0m H=10.0m	
A/145 A/147 A/149	雨水排水計画平面図（全体） 雨水排水計画平面図（2／4） 雨水排水計画平面図（4／4）	・ D20→D23の排水管 ・ F16→F17の排水管	・ a ・ f	・ c ・ a	
A/145 ～ A/149	雨水排水計画平面図（全体） 雨水排水計画平面図（1／4） 雨水排水計画平面図（2／4） 雨水排水計画平面図（3／4） 雨水排水計画平面図（4／4）	符号a、b、c、e、g、i、jの数量	a：329m b：96.1m c：179m e：30.8m g：25.5m i：90.1m j：39.6m	a：331m b：82.0m c：187m e：31.0m g：18.3m i：121m j：29.7m	
A/155	会所リストー1	流入管底高	A05：16.541、16.703 A08：16.575、16.654 A11：16.756 B02：16.749 B03：16.678 B05：16.558 C16：16.309、16.715 C17：16.109 C18：15.907 C貯留槽【北】：15.300	A05：16.536、16.698 A08：16.571、16.649 A11：16.606 B02：16.746 B03：16.677 B05：16.557 C16：16.303、16.711 C17：16.102 C18：15.899 C貯留槽【北】：15.285	

図面No.	図 面 名 称	訂 正 箇 所	誤	正	備 考
A/156	会所リストー 2	流入管底高	E30 : 16. 701 E31 : 16. 591 E32 : 16. 441 E33 : 16. 404 E貯留槽[南] : 15. 564 H貯留槽[南] : 15. 750	E30 : 16. 694 E31 : 16. 582 E32 : 16. 437 E33 : 16. 403 E貯留槽[南] : 15. 558 H貯留槽[南] : 15. 790	
A/155	会所リストー 1	流出管底高	B03 : 16. 668	B03 : 16. 667	
A/156	会所リストー 2	流出管底高	E30 : 16. 691	E30 : 16. 682	
A/155	会所リストー 1	流入管径	B03 : VP φ 150 B05 : VP φ 150	B03 : VP φ 100 B05 : VP φ 100	
A/155	会所リストー 1	流出管径	B02 : VP φ 150 B04 : VP φ 150	B02 : VP φ 100 B04 : VP φ 100	
A/155	会所リストー 1	樹間距離	A02 : 11. 416 A05 : 4. 785、 5. 264 A08 : 4. 750、 11. 925 A11 : 12. 308 B02 : 3. 530 B03 : 5. 612 C10 : 1. 969 C16 : 6. 202、 2. 446 C17 : 19. 021 C18 : 19. 021 D04 : 記載なし	A02 : 10. 600 A05 : 4. 903、 5. 159 A08 : 4. 871、 11. 546 A11 : 12. 291 B02 : 3. 487 B03 : 5. 732 C10 : 1. 869 C16 : 6. 204、 2. 450 C17 : 19. 023 C18 : 19. 022 D04 : 7. 282	
A/156	会所リストー 2	樹間距離	E30 : 12. 300 E32 : 10. 810 E33 : 2. 528 E貯留槽[南] : 3. 289 G貯留槽[南] : 6. 196 H貯留槽[南] : 3. 706 I貯留槽[南] : 2. 296 K01 : 2. 647	E30 : 13. 000 E32 : 11. 410 E33 : 2. 058 E貯留槽[南] : 8. 590 G貯留槽[南] : 7. 410 H貯留槽[南] : 4. 177 I貯留槽[南] : 3. 897 K01 : 1. 776	
A/155	会所リストー 1	備考	B03 : 流出管 B05 : 流入管 E10 : [第 1 樹] E14 : [第 1 樹] E15 : 記載なし	B03 : 流出入管 B05 : 流出入管 E10 : [第 1 樹]流出管 : 根巻補強90° E14 : [第 1 樹]流出管 : 根巻補強90° E15 : E14流入管 : 根巻補強90°	

参 考 内 訳 明 細 書 正 誤 表

工事名称：万崎建替公営住宅第二期建設工事

誤				正			
明細書No.	名 称	摘 要	数 量 単 位	明細書No.	名 称	摘 要	数 量 単 位 備 考
P5 6行目 直接工事費	山留	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=268m H=8.0m 引抜共 90日程度	1 式	P5 6行目 直接工事費	山留	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=268m H=8.0m 引抜共 90日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 1行目 直接工事費	根切り	総掘り 自立山留め内	2,245 m3	P72 1行目 直接工事費	根切り	総掘り 自立山留め内	2,329 m3 訂正
P72 4行目 直接工事費	根切り	小規模土工	2,109 m3	P72 4行目 直接工事費	根切り	小規模土工	2,083 m3 訂正
P72 6行目 直接工事費	床付け	総掘り	551 m	P72 6行目 直接工事費	床付け	総掘り	554 m 訂正
P72 8行目 直接工事費	埋戻し	改良土	1,138 m3	P72 8行目 直接工事費	埋戻し	改良土	1,210 m3 訂正
P72 9行目 直接工事費	埋戻し	小規模土工 改良土	1,335 m3	P72 9行目 直接工事費	埋戻し	小規模土工 改良土	1,319 m3 訂正
P72 12行目 直接工事費	山留 (雨水貯留槽北)	鋼矢板工法 Ⅳ型 自立 圧入工法 L=73.6m H=10.5m 引抜共 90日程度	1 式	P72 12行目 直接工事費	山留 (雨水貯留槽北)	鋼矢板工法 Ⅳ型 自立 圧入工法 L=73.6m H=10.5m 引抜共 90日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 13行目 直接工事費	山留 (雨水貯留槽南)	鋼矢板工法 Ⅳ型 自立 圧入工法 L=68.3m H=10.0m 引抜共 90日程度	1 式	P72 13行目 直接工事費	山留 (雨水貯留槽南)	鋼矢板工法 Ⅳ型 自立 圧入工法 L=68.3m H=10.0m 引抜共 90日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 14行目 直接工事費	山留 (雨水排水K01-03)	鋼矢板工法 Ⅲ型 切梁1段 圧入工法 L=69.1m H=8.5m 引抜共 30日程度	1 式	P72 14行目 直接工事費	山留 (雨水排水K01-03)	鋼矢板工法 Ⅲ型 切梁1段 圧入工法 L=69.1m H=8.5m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 15行目 直接工事費	山留 (集水樹A15)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=6.0m H=7.0m 引抜共 30日程度	1 式	P72 15行目 直接工事費	山留 (集水樹A15)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=6.0m H=7.0m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 16行目 直接工事費	山留 (集水樹G01)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=6.6m H=5.0m 引抜共 30日程度	1 式	P72 16行目 直接工事費	山留 (集水樹G01)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=6.6m H=5.0m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 17行目 直接工事費	山留 (集水樹H01)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=4.5m H=5.0m 引抜共 30日程度	1 式	P72 17行目 直接工事費	山留 (集水樹H01)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=4.5m H=5.0m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 18行目 直接工事費	山留 (集水樹I01)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=5.1m H=5.0m 引抜共 30日程度	1 式	P72 18行目 直接工事費	山留 (集水樹I01)	鋼矢板工法 Ⅲ型 自立 圧入工法 L=5.1m H=5.0m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 19行目 直接工事費	山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=18.0m H=10.0m 引抜共 30日程度	1 式	P72 19行目 直接工事費	山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=18.0m H=10.0m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 訂正
P72 20行目 直接工事費	山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=14.0m H=10.0m 引抜共 30日程度	1 式	P72 20行目 直接工事費	山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=14.0m H=10.0m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 訂正
				P73 1行目 直接工事費	山留 (ツツクス樹J01)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=14.0m H=10.0m 引抜共 30日程度 オガ-併用	1 式 漏加
P84 19行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1050 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1 か所	P84 19行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1050 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ共	1 か所 訂正
P84 20行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1200 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1 か所	P84 20行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1200 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ共	1 か所 訂正
P85 1行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1500 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	2 か所	P85 1行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1500 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ共	2 か所 訂正
P85 2行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1650 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1 か所	P85 2行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1650 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ共	1 か所 訂正
P85 3行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1800 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1 か所	P85 3行目 直接工事費	V型街渠枳	W650×D500×H1800 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ共	1 か所 訂正
P85 10行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (1)	W600×D600×H1050 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	1 か所	P85 10行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (1)	W600×D600×H1050 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-6) SUS製タラップ共	1 か所 訂正
P85 11行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (1)	W600×D600×H1200 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	10 か所	P85 11行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (1)	W600×D600×H1200 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-6) SUS製タラップ共	10 か所 訂正
P85 12行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1350 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-7)	1 か所	P85 12行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1350 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-7) SUS製タラップ共	1 か所 訂正
P85 13行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1500 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-7)	4 か所	P85 13行目 直接工事費	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1500 グレーチング 蓋 ノズリタラップ 細目 T-6 地業共 (R-7) SUS製タラップ共	4 か所 訂正

誤					正					備 考
明細書No.	名 称	摘 要	数 量	単 位	明細書No.	名 称	摘 要	数 量	単 位	
P85 14行目	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1650 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6	1		P85 14行目	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1650 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6	1		訂正
直接工事費		地裏共 (R-7)		か所	直接工事費		地裏共 (R-7) SUS製グリップ共		か所	
P85 15行目	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1800 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6	2		P85 15行目	現場打ち集水樹 (2)	W800×D800×H1800 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6	2		訂正
直接工事費		地裏共 (R-7)		か所	直接工事費		地裏共 (R-7) SUS製グリップ共		か所	
P86 13行目	排水管	VP-100	329		P86 13行目	排水管	VP-100	331		訂正
直接工事費				m	直接工事費				m	
P86 14行目	排水管	VP-125	96.1		P86 14行目	排水管	VP-125	82.0		訂正
直接工事費				m	直接工事費				m	
P86 15行目	排水管	VP-150	179		P86 15行目	排水管	VP-150	187		訂正
直接工事費				m	直接工事費				m	
P86 17行目	排水管	VU-250	30.8		P86 17行目	排水管	VU-250	31.0		訂正
直接工事費				m	直接工事費				m	
P86 19行目	排水管	VP-100 90° コンクリート巻共	25.5		P86 19行目	排水管	VP-100 90° コンクリート巻共	18.3		訂正
直接工事費				m	直接工事費				m	
P86 20行目	排水管	VP-125 90° コンクリート巻共	90.1		P86 20行目	排水管	VP-125 90° コンクリート巻共	121		訂正
直接工事費				m	直接工事費				m	
P87 1行目	排水管	VP-150 90° コンクリート巻共	39.6		P87 1行目	排水管	VP-150 90° コンクリート巻共	29.7		訂正
直接工事費				m	直接工事費				m	
					P87 5行目	排水管	VU-450	3.7		追加
					直接工事費				m	
P94 1行目	発生材運搬	発生土 5.285m3 コンクリート類 16.4m3			P94 1行目	発生材運搬	発生土 5.343m3 コンクリート類 16.4m3			訂正
直接工事費		アスファルト類 40.4m3 木材類 0.3m3 か け 類 81.5m3 廃プラスチック類 0.2m3 汚泥 9.0m3			直接工事費		アスファルト類 40.4m3 木材類 0.3m3 か け 類 81.5m3 廃プラスチック類 0.2m3 汚泥 9.0m3			
			1	式				1	式	
P94 2行目	発生材処分	発生土 5.285m3 コンクリート類 16.4m3			P94 2行目	発生材処分	発生土 5.343m3 コンクリート類 16.4m3			訂正
直接工事費		アスファルト類 40.4m3 木材類 0.3m3 か け 類 81.5m3 廃プラスチック類 0.2m3 汚泥 9.0m3			直接工事費		アスファルト類 40.4m3 木材類 0.3m3 か け 類 81.5m3 廃プラスチック類 0.2m3 汚泥 9.0m3			
			1	式				1	式	
P3 9行目	STEP4 単管ハ リケート	単管上下2本 L=1.5m スタンド 2台 チューブ 1台			P3 9行目	STEP4 単管ハ リケート	単管上下2本 L=1.5m スタンド 2台 チューブ 1台			訂正
共通仮設費 (積上)		317m 掛払い基本料運搬共 存置 45日程度 11.2m 存置 15日程度 23.2m 存置 15日程度 26.2m 存置 15日程度			共通仮設費 (積上)		317m 掛払い基本料運搬共 存置 45日程度 11.2m 存置 15日程度 23.2m 存置 15日程度 26.2m 存置 15日程度 22.6m 盛替			
			1	式				1	式	

屋外附帯 土工						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
根切り	総掘り 自立山留め内	2,245	m ³			
根切り	総掘り 法付オープンカット	364	m ³			
根切り	総掘り 山留め内・切梁	298	m ³			
根切り	小規模土工 -	2,109	m ³			
すきとり	積み込み共 H300程度	266	m ³			
床付け	総掘り	551	m ²			
埋戻し (素掘側溝範囲)	改良土	160	m ³			
埋戻し	改良土	1,138	m ³			
埋戻し	小規模土工 改良土	1,335	m ³			
盛土	改良土	107	m ³			
盛土	小規模土工範囲 改良土	30.8	m ³			
山留 (雨水貯留槽北)	鋼矢板工法 IV型 自立 圧入工法 L=73.6m H=10.5m 引抜共 90日程度	1	式			
山留 (雨水貯留槽南)	鋼矢板工法 IV型 自立 圧入工法 L=68.3m H=10.0m 引抜共 90日程度	1	式			
山留 (雨水排水K01-03)	鋼矢板工法 III型 切梁1段 圧入工法 L=69.1m H=8.5m 引抜共 30日程度	1	式			
山留 (集水桝A15)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=6.0m H=7.0m 引抜共 30日程度	1	式			
山留 (集水桝G01)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=6.6m H=5.0m 引抜共 30日程度	1	式			
山留 (集水桝H01)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=4.5m H=5.0m 引抜共 30日程度	1	式			
山留 (集水桝I01)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=5.1m H=5.0m 引抜共 30日程度	1	式			
山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=18.0m H=10.0m 引抜共 30日程度	1	式			
山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=14.0m H=10.0m 引抜共 30日程度	1	式			

[illegible]

屋外附帯		屋外排水		雨水排水		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
雨水枡D-1	既製品 300角 H420 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	3	か所			
雨水枡D-2	既製品 300角 H600 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	9	か所			
雨水枡D-3	既製品 350角 H490 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	7	か所			
雨水枡D-4	既製品 350角 H690 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	17	か所			
雨水枡D-6	既製品 400角 H820 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	10	か所			
雨水枡D-8	既製品 450角 H880 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	1	か所			
雨水枡D-10	既製品 500角 H1000 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	3	か所			
雨水枡D-12	既製品 600角 H1100 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	3	か所			
L型側溝雨水枡(1)	W400×D300×H600 クレーニング 蓋 T-25 地業共 (R-2)	13	か所			
L型側溝雨水枡(1)	W400×D300×H750 クレーニング 蓋 T-25 地業共 (R-2)	3	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H600 クレーニング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	1	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H750 クレーニング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	3	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H900 クレーニング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	4	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H1050 クレーニング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	2	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H1200 クレーニング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	2	か所			
L型側溝雨水枡(3)	W340×D300×H1015 クレーニング 蓋 歩行用細目 T-25 地業共, 排水管, 接続共 (R-4)	1	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H750 クレーニング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	2	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H900 クレーニング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	2	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H1050 クレーニング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H1200 クレーニング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1	か所			

屋外附帯		屋外排水		雨水排水		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
V型街渠柵	W650×D500×H1500 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	2	か所			
V型街渠柵	W650×D500×H1650 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1	か所			
V型街渠柵	W650×D500×H1800 グレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	1	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W450×D450×H600 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-2 地業共 (R-6)	2	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W450×D450×H600 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	7	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W600×D600×H750 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-2 地業共 (R-6)	1	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W600×D600×H750 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	1	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W600×D600×H900 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-2 地業共 (R-6)	1	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W600×D600×H900 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	2	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W600×D600×H1050 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	1	か所			
現場打ち集水柵 (1)	W600×D600×H1200 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	10	か所			
現場打ち集水柵 (2)	W800×D800×H1350 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7)	1	か所			
現場打ち集水柵 (2)	W800×D800×H1500 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7)	4	か所			
現場打ち集水柵 (2)	W800×D800×H1650 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7)	1	か所			
現場打ち集水柵 (2)	W800×D800×H1800 グレーチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7)	2	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1040～1180 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1340～1480 E19 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1340～1480 F17 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1490～1630 E24 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1490～1630 F18 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			

屋外附帯		屋外排水	雨水排水			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
0号組立マンホール	φ750×H1640～1780 F21 マンホール蓋 T-2 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1640～1780 E28 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1790～1930 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
1号組立マンホール	φ900×H3440～3580 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-16)	1	か所			
3号組立マンホール	φ1500×H4140～4280 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-17)	1	か所			
オフィス会所(南)	W2350×D1300×H3216 Fc24-15-20 高炉セメントB種 S=6 マンホール蓋 T-2, 地業共 (K-01)	1	か所			
オフィス会所(北)	W2350×D1300×H3815 Fc24-15-20 高炉セメントB種 S=6 マンホール蓋 T-2, 地業共 (J-01)	1	か所			
防護コンクリート 開口補強	400φ 配管用貫通共 t300×1,020×1,020 アンカー共	1	か所			
防護コンクリート 開口補強	500φ 配管用貫通共 t300×1,070×1,070 アンカー共	1	か所			
U形側溝(1)	U-180 グレーチング蓋 ノスリップ細目 T-6 地業共 (R-11)	216	m			
U形側溝(2)	U-250 グレーチング蓋 ノスリップ細目 T-6 地業共 (R-12)	40.9	m			
排水管	VP-75	0.7	m			
排水管	VP-100	329	m			
排水管	VP-125	96.1	m			
排水管	VP-150	179	m			
排水管	VU-200	209	m			
排水管	VU-250	30.8	m			
排水管	VU-300	7.9	m			
排水管	VP-100 90° コンクリート巻共	25.5	m			
排水管	VP-125 90° コンクリート巻共	90.1	m			

[illegible]

[illegible]

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	75.6m 掛払い, 基本料, 運搬共 存置 30日程度	1	式			
STEP3 仮設通路①	ガードフェンス(単管下地+控え) H=1.8m 上部養生シート, 下部足場板隙間塞ぎ 95.3m 盛替 ハネルキヤスターゲート W=6.3m H=2.0m 2か所 盛替 プラスチック敷板 t=13, RC-40 t=50 137㎡ 盛替(碎石撤去, 積込, 新設)	1	式			
STEP3 仮設通路②	プラスチック敷板 t=13, RC-40 t=50 13.3㎡ 盛替(碎石撤去, 積込, 新設)	1	式			
小計						
STEP4 仮囲い	万能鋼板(単管下地+控え) H=3.0m 487m 撤去 クリアハネル(単管下地+控え) H=3.0m 1.5m 撤去, 積込み共	1	式			
STEP4 ハネルゲート	ハネルゲート W=7.2m H=4.5m 2か所 撤去, 積込み共	1	式			
STEP4 仮設通路①②	ガードフェンス(単管下地+控え) H=1.8m 上部養生シート, 下部足場板隙間塞ぎ 95.3m 撤去, 積込み共 ハネルキヤスターゲート W=6.3m H=2.0m 2か所 撤去, 積込み共 プラスチック敷板 t=13, RC-40 t=50 137㎡ 撤去, 積込み共 13.3㎡ 撤去, 積込み共	1	式			
STEP4 ガードフェンス	ガードフェンス(単管下地+控え) H=1.8m 上部養生シート, 下部足場板隙間塞ぎ 370m 掛払い, 基本料, 運搬共 存置 45日程度	1	式			
STEP4 単管ハネルゲート	単管上下2本 L=1.5m スタント2台 チューブライト 317m 掛払い, 基本料, 運搬共 存置 45日程度 11.2m 存置 15日程度 23.2m 存置 15日程度 26.2m 存置 15日程度	1	式			
小計						
情報共有システム 利用料	630日程度	1	式			
仮設鉄板敷	1524×6096×22mm 設置, 整備, 撤去, 運搬共 334㎡ 525日程度	1	式			

屋外附帯		土工				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
根切り	総掘り 自立山留め内	2,329	m ³			
根切り	総掘り 法付オープンカット	364	m ³			
根切り	総掘り 山留め内・切梁	298	m ³			
根切り	小規模土工 -	2,083	m ³			
すきとり	積み込み共 H300程度	266	m ³			
床付け	総掘り	554	m ²			
埋戻し (素掘側溝範囲)	改良土	160	m ³			
埋戻し	改良土	1,210	m ³			
埋戻し	小規模土工 改良土	1,319	m ³			
盛土	改良土	107	m ³			
盛土	小規模土工範囲 改良土	30.8	m ³			
山留 (雨水貯留槽北)	鋼矢板工法 IV型 自立 圧入工法 L=73.6m H=10.5m 引抜共 90日程度 オーク併用	1	式			
山留 (雨水貯留槽南)	鋼矢板工法 IV型 自立 圧入工法 L=68.3m H=10.0m 引抜共 90日程度 オーク併用	1	式			
山留 (雨水排水K01-03)	鋼矢板工法 III型 切梁1段 圧入工法 L=69.1m H=8.5m 引抜共 30日程度 オーク併用	1	式			
山留 (集水桝A15)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=6.0m H=7.0m 引抜共 30日程度 オーク併用	1	式			
山留 (集水桝G01)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=6.6m H=5.0m 引抜共 30日程度 オーク併用	1	式			
山留 (集水桝H01)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=4.5m H=5.0m 引抜共 30日程度 オーク併用	1	式			
山留 (集水桝I01)	鋼矢板工法 III型 自立 圧入工法 L=5.1m H=5.0m 引抜共 30日程度 オーク併用	1	式			
山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=18.0m H=10.0m 引抜共 30日程度 オーク併用	1	式			
山留 (防水水槽1)	鋼矢板工法 V-L型 自立 圧入工法 L=14.0m H=10.0m 引抜共 30日程度 オーク併用	1	式			

[illegible]

屋外附帯		屋外排水		雨水排水		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
雨水枡D-1	既製品 300角 H420 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	3	か所			
雨水枡D-2	既製品 300角 H600 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	9	か所			
雨水枡D-3	既製品 350角 H490 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	7	か所			
雨水枡D-4	既製品 350角 H690 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	17	か所			
雨水枡D-6	既製品 400角 H820 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	10	か所			
雨水枡D-8	既製品 450角 H880 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	1	か所			
雨水枡D-10	既製品 500角 H1000 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	3	か所			
雨水枡D-12	既製品 600角 H1100 コンクリート蓋 地業共 (R-1)	3	か所			
L型側溝雨水枡(1)	W400×D300×H600 クレーチング 蓋 T-25 地業共 (R-2)	13	か所			
L型側溝雨水枡(1)	W400×D300×H750 クレーチング 蓋 T-25 地業共 (R-2)	3	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H600 クレーチング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	29.70	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H750 クレーチング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	3	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H900 クレーチング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	4	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H1050 クレーチング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	2	か所			
L型側溝雨水枡(2)	W400×D450×H1200 クレーチング 蓋 T-25 地業共 (R-3)	2	か所			
L型側溝雨水枡(3)	W340×D300×H1015 クレーチング 蓋 歩行用細目 T-25 地業共, 排水管, 接続共 (R-4)	1	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H750 クレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	2	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H900 クレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5)	2	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H1050 クレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製クレーチング 共	1	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H1200 クレーチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製クレーチング 共	1	か所			

屋外附帯		屋外排水		雨水排水		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
V型街渠枡	W650×D500×H1500 グレチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ 共	2	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H1650 グレチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ 共	1	か所			
V型街渠枡	W650×D500×H1800 グレチング 蓋 T-6 地業共 (R-5) SUS製タラップ 共	1	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W450×D450×H600 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-2 地業共 (R-6)	2	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W450×D450×H600 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	7	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W600×D600×H750 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-2 地業共 (R-6)	1	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W600×D600×H750 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	1	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W600×D600×H900 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-2 地業共 (R-6)	1	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W600×D600×H900 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6)	2	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W600×D600×H1050 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6) SUS製タラップ 共	1	か所			
現場打ち集水枡 (1)	W600×D600×H1200 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-6) SUS製タラップ 共	10	か所			
現場打ち集水枡 (2)	W800×D800×H1350 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7) SUS製タラップ 共	1	か所			
現場打ち集水枡 (2)	W800×D800×H1500 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7) SUS製タラップ 共	4	か所			
現場打ち集水枡 (2)	W800×D800×H1650 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7) SUS製タラップ 共	1	か所			
現場打ち集水枡 (2)	W800×D800×H1800 グレチング 蓋 ノンスリップ 細目 T-6 地業共 (R-7) SUS製タラップ 共	2	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1040～1180 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1340～1480 E19 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1340～1480 F17 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1490～1630 E24 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1490～1630 F18 マンホール蓋 ノンスリップ 仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			

屋外附帯		屋外排水		雨水排水		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
0号組立マンホール	φ750×H1640～1780 F21 マンホール蓋 T-2 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1640～1780 E28 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
0号組立マンホール	φ750×H1790～1930 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-15)	1	か所			
1号組立マンホール	φ900×H3440～3580 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-16)	1	か所			
3号組立マンホール	φ1500×H4140～4280 マンホール蓋 ノスリップ仕様 T-6 地業共 (R-17)	1	か所			
オフィス会所(南)	W2350×D1300×H3216 Fc24-15-20 高炉セメントB種 S=6 マンホール蓋 T-2, 地業共 (K-01)	1	か所			
オフィス会所(北)	W2350×D1300×H3815 Fc24-15-20 高炉セメントB種 S=6 マンホール蓋 T-2, 地業共 (J-01)	1	か所			
防護コンクリート 開口補強	400φ 配管用貫通共 t300×1,020×1,020 アンカー共	1	か所			
防護コンクリート 開口補強	500φ 配管用貫通共 t300×1,070×1,070 アンカー共	1	か所			
U形側溝(1)	U-180 グレーチング蓋 ノスリップ細目 T-6 地業共 (R-11)	216	m			
U形側溝(2)	U-250 グレーチング蓋 ノスリップ細目 T-6 地業共 (R-12)	40.9	m			
排水管	VP-75	0.7	m			
排水管	VP-100	331	m			
排水管	VP-125	82	m			
排水管	VP-150	187	m			
排水管	VU-200	209	m			
排水管	VU-250	31	m			
排水管	VU-300	7.9	m			
排水管	VP-100 90° コンクリート巻共	18.3	m			
排水管	VP-125 90° コンクリート巻共	121	m			

[illegible]

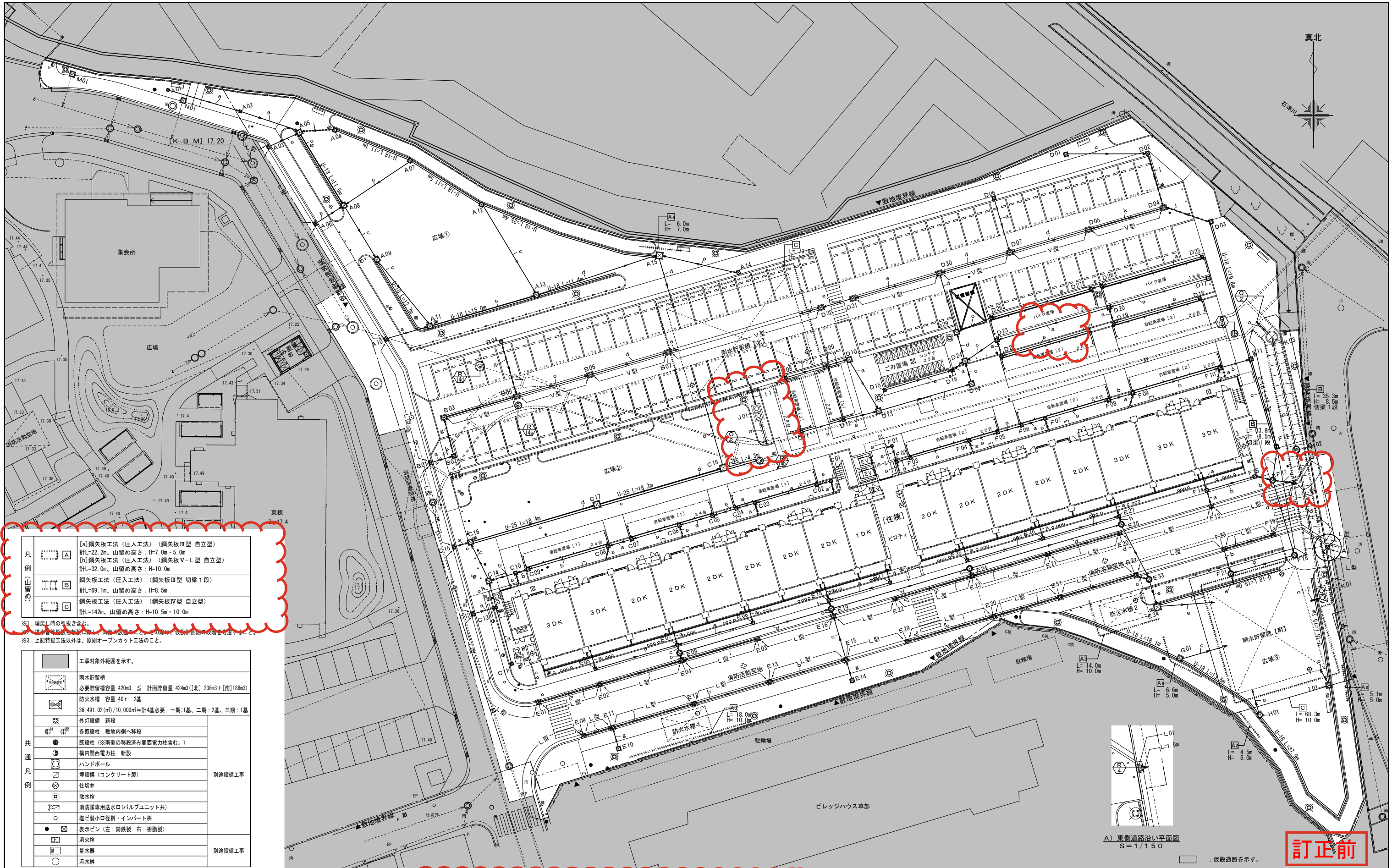
[illegible]

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	75.6m 掛払い, 基本料, 運搬共 存置 30日程度	1	式			
STEP3 仮設通路①	ガードフェンス(単管下地+控え) H=1.8m 上部養生シート, 下部足場板隙間塞ぎ 95.3m 盛替 ハネルキヤスターゲート W=6.3m H=2.0m 2か所 盛替 プラスチック敷板 t=13, RC-40 t=50 137㎡ 盛替(碎石撤去, 積込, 新設)	1	式			
STEP3 仮設通路②	プラスチック敷板 t=13, RC-40 t=50 13.3㎡ 盛替(碎石撤去, 積込, 新設)	1	式			
小計						
STEP4 仮囲い	万能鋼板(単管下地+控え) H=3.0m 487m 撤去 クリアハネル(単管下地+控え) H=3.0m 1.5m 撤去, 積込み共	1	式			
STEP4 ハネルゲート	ハネルゲート W=7.2m H=4.5m 2か所 撤去, 積込み共	1	式			
STEP4 仮設通路①②	ガードフェンス(単管下地+控え) H=1.8m 上部養生シート, 下部足場板隙間塞ぎ 95.3m 撤去, 積込み共 ハネルキヤスターゲート W=6.3m H=2.0m 2か所 撤去, 積込み共 プラスチック敷板 t=13, RC-40 t=50 137㎡ 撤去, 積込み共 13.3㎡ 撤去, 積込み共	1	式			
STEP4 ガードフェンス	ガードフェンス(単管下地+控え) H=1.8m 上部養生シート, 下部足場板隙間塞ぎ 370m 掛払い, 基本料, 運搬共 存置 45日程度	1	式			
STEP4 単管ハネルゲート	単管上下2本 L=1.5m スタント2台 チューブライト 317m 掛払い, 基本料, 運搬共 存置 45日程度 11.2m 存置 15日程度 23.2m 存置 15日程度 26.2m 存置 15日程度 22.6m 盛替	1	式			
小計						
情報共有システム 利用料	630日程度	1	式			
仮設鉄板敷	1524×6096×22mm 設置, 整備, 撤去, 運搬共 334㎡ 525日程度	1	式			

特記仕様書 [営繕編]					No.7																																																																																																	
章	項 目	特 記 事 項		章	項 目	特 記 事 項		章	項 目	特 記 事 項																																																																																												
14 金 属 工 事	6 金属成形板張り	種別 ・ 図示による ・ 表面処理 ・ 図示による ・ 取付け用下地 ※標準仕様書 14.4)による ・ 図示による 伸縮調整継手 ・ 設ける (施工箇所 ・ 図示 ・ 設けない	7 アルミニウム製笠木	部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 表面処理 ※ B B-1 種又はB B-2 種 色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 () 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による ・	15 左 官 工 事	⑧ 金属既製品及び製作金物	・ ドアガード：ごみ置場 ・ 別図詳細図による ・ ガードパイプ：ごみ置場 ・ 別図詳細図による	16 建 具 工 事	④ アルミニウム製建具	性能値等 (建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 図示による 外部に面する建具の種別 ※ 標準仕様書 表 16.2.1、表16.2.2)による ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 () ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 遮音性の等級 () 表面処理 外部に面する建具 (表 14.2.1) 種別 ※ B B-1 種 ・ B B-2 種 着色 ※ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具 (表 14.2.1) 種別 ※ B C-1 種 ・ B C-2 種 着色 ※ 標準色 ・ 特注色 ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 結露水の処理方法 ・ 図示による ・ 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ 木下地の内付け建具 ・ 適用する (建具の製造所の仕様) ・ 適用しない 防虫網の材料 <table><tr><th>種 類</th><th>材 質</th><th>線 径</th><th>網 目</th></tr><tr><td>・ 防虫網</td><td>※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製</td><td>※ 0.25mm以上 ・</td><td>※ 16～18 メッシュ ・</td></tr></table>		種 類	材 質	線 径	網 目	・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18 メッシュ ・																																																																																			
	種 類	材 質	線 径	網 目																																																																																																		
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18 メッシュ ・																																																																																																			
7 アルミニウム製笠木	部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 表面処理 ※ B B-1 種又はB B-2 種 色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 () 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による ・	⑦ 仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 材料 ○ 薄付け仕上塗材 <table><tr><th>呼び名</th><th>仕上の形状</th><th>工 法</th><th>吸放湿性</th><th>防火材料</th></tr><tr><td>・外装薄塗材Si</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ ローラー 塗り</td><td rowspan="4">/</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材Si</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ ローラー 塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>○外装薄塗材E</td><td>○ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状</td><td>○ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・防水形外装薄塗材E</td><td>・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状</td><td>・ 吹付け ・ ローラー 塗り</td><td></td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・外装薄塗材S</td><td>・ 砂壁状</td><td>・ 吹付け</td><td></td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・内装薄塗材C ・内装薄塗材L</td><td>・ 凹凸状 ・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E</td><td>・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・内装薄塗材W</td><td>・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ・ 厚付け仕上塗材 <table><tr><th>呼び名</th><th>仕上の形状</th><th>工 法</th><th>吸放湿性</th><th>防火材料</th></tr><tr><td>・外装厚塗材C</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り</td><td rowspan="4">/</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・内装厚塗材C</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・内装厚塗材L</td><td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・内装厚塗材G</td><td>・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし</td><td>・ こて塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E</td><td>・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし</td><td>・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> 外装厚塗材Cにおける上塗材がセメントスタッコ以外の場合 () 外装厚塗材Si、外装厚塗材Eにおける上塗材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	呼び名	仕上の形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・外装薄塗材Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り	/	・ 適用する ・ 適用しない	・可とう形外装薄塗材Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	○外装薄塗材E	○ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状	○ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	○ 適用する ・ 適用しない	・可とう形外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・防水形外装薄塗材E	・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り		・ 適用する ・ 適用しない	・外装薄塗材S	・ 砂壁状	・ 吹付け		・ 適用する ・ 適用しない	・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・ 凹凸状 ・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・内装薄塗材W	・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	呼び名	仕上の形状	工 法	吸放湿性	防火材料	・外装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り	/	・ 適用する ・ 適用しない	・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・内装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・内装厚塗材L	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・内装厚塗材G	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	⑧ 下地調整塗材	仕上塗材用下地調整材 ※ JIS A 6916規格品 製造所 ※ 仕上塗材の製造所 工法 ※ こて ・ ローラー ・ 吹付け 施工箇所 外部打放し面 (床版を除く) で薄付け仕上塗材、複層仕上塗材及び塗装等の下地 内部打放し面で薄付け仕上塗材、複層仕上塗材、塗装及びクロス等の下地 合成樹脂系シーラー ※ 仕上塗材全面 割がれ、退色について受注者、施工者、製造者の3者連名による保証書を提出する 薄付け仕上塗材 アクリル 3年 複層仕上塗材 アクリルシリコン系 10年 水系ウレタン 8年 水系アクリル 5年	⑨ 仕上塗材の保証	仕上塗材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ (mm) ・ 図示による ・	10 ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ (mm) ・ 図示による ・	11 セルフレベリング材塗	種類 ・ 石こう系 ※セメント系 品質 ※ JISS15M-103による 厚さ ※ 10mm	⑫ 目 地	※ モルタルこて押さえ面については、3m以内に縦横設ける (面台の長いものについては中央に1本設ける)	⑬ 樹脂混入モルタル	○ エレホン化成工業 (株) ポリマー-B ○ 日本化成 (株) NSハイフェックスHF-1000 ○ 太平洋マテリアル (株) CX-B 太平洋エフェクト同等品以上	① 防火戸	○ 建具表による ・ ・ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等 ・ 建具表による ・ 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号：) ○ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号：) ○ 行わない	② 見本の製作等	○ 適用する (適用箇所 ○ 建具表による) ・ 適用しない	③ 防犯建物部品	
呼び名	仕上の形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																																																																		
・外装薄塗材Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り	/	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・可とう形外装薄塗材Si	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
○外装薄塗材E	○ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状	○ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り		○ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・可とう形外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・防水形外装薄塗材E	・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ ローラー 塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・外装薄塗材S	・ 砂壁状	・ 吹付け		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・ 凹凸状 ・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ さざ波状	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・内装薄塗材W	・ 京壁状じゅらく ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状	・ 吹付け ・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
呼び名	仕上の形状	工 法	吸放湿性	防火材料																																																																																																		
・外装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り	/	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り		・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・内装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 吹付け ・ こて塗り		・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																	
・内装厚塗材L	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り		・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																	
・内装厚塗材G	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ こて塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー 塗り	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																		
15 左 官 工 事	1 ラス系下地	下地の種類 ・ 通気構法 (・ 二層下地 ・ 単層下地) ・ 直張り工法 (・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地) ・ 図示による (外装断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合) 材料 ラス材及び補強用プラス 材料記号 (※ K) 種類及び単位面積当たりの質量 ・ 二層下地通気構法 ・ 波形ラス (W700) ・ こぶラス (K800) ・ カ骨付きラス (BP700) ・ 単層下地通気構法 ・ リプラスC (RC800)にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ・ ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※ LS4 (耐力壁の場合) ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※ L925TS以上 (リプラスC (RC800)の場合) ・ 波形ラス ※ L1019JS以上 (波形ラス (W700)の場合) ・ 施工 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる 直張り工法 (ラスシートモルタル下地の場合) 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による ・	2 セっこうボード、 その他のボード下地	材料 セっこうボード、セっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ セっこうボード 種類 () 厚さ (mm) セっこうラスボード 種類 () 厚さ (mm) 木質系セメント板 種類 () 厚さ (mm)	3 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ なし ・ あり	4 木ずり下地	材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉 (心去り材) ・	5 モルタル塗り	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (・ 図示) ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける 目地割 ※ 2m2程度 (最大目地間隔 3m程度) ・ 種類 ※ 押し目地 ・ ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	2025. 5. 改訂	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事 図面名称 特記仕様書 (No.7) A 3 縮尺 — A 1 縮尺 — 堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A/007																																																																																										
	15 左 官 工 事	1 ラス系下地	下地の種類 ・ 通気構法 (・ 二層下地 ・ 単層下地) ・ 直張り工法 (・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地) ・ 図示による (外装断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合) 材料 ラス材及び補強用プラス 材料記号 (※ K) 種類及び単位面積当たりの質量 ・ 二層下地通気構法 ・ 波形ラス (W700) ・ こぶラス (K800) ・ カ骨付きラス (BP700) ・ 単層下地通気構法 ・ リプラスC (RC800)にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ・ ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※ LS4 (耐力壁の場合) ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※ L925TS以上 (リプラスC (RC800)の場合) ・ 波形ラス ※ L1019JS以上 (波形ラス (W700)の場合) ・ 施工 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる 直張り工法 (ラスシートモルタル下地の場合) 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による ・	2 セっこうボード、 その他のボード下地	材料 セっこうボード、セっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ セっこうボード 種類 () 厚さ (mm) セっこうラスボード 種類 () 厚さ (mm) 木質系セメント板 種類 () 厚さ (mm)	3 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ なし ・ あり	4 木ずり下地	材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉 (心去り材) ・	5 モルタル塗り	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (・ 図示) ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける 目地割 ※ 2m2程度 (最大目地間隔 3m程度) ・ 種類 ※ 押し目地 ・ ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	2025. 5. 改訂	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事 図面名称 特記仕様書 (No.7) A 3 縮尺 — A 1 縮尺 — 堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A/007																																																																																									

訂正前

訂正前



凡例 (山留め)		[a]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m
		[b]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅴ-L型 自立型） 計L=32.0m、山留め高さ：H=10.0m
		鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁1段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m
		鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m

※1：埋戻し時の引抜き含む。
※2：埋戻し時の引抜き含む。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

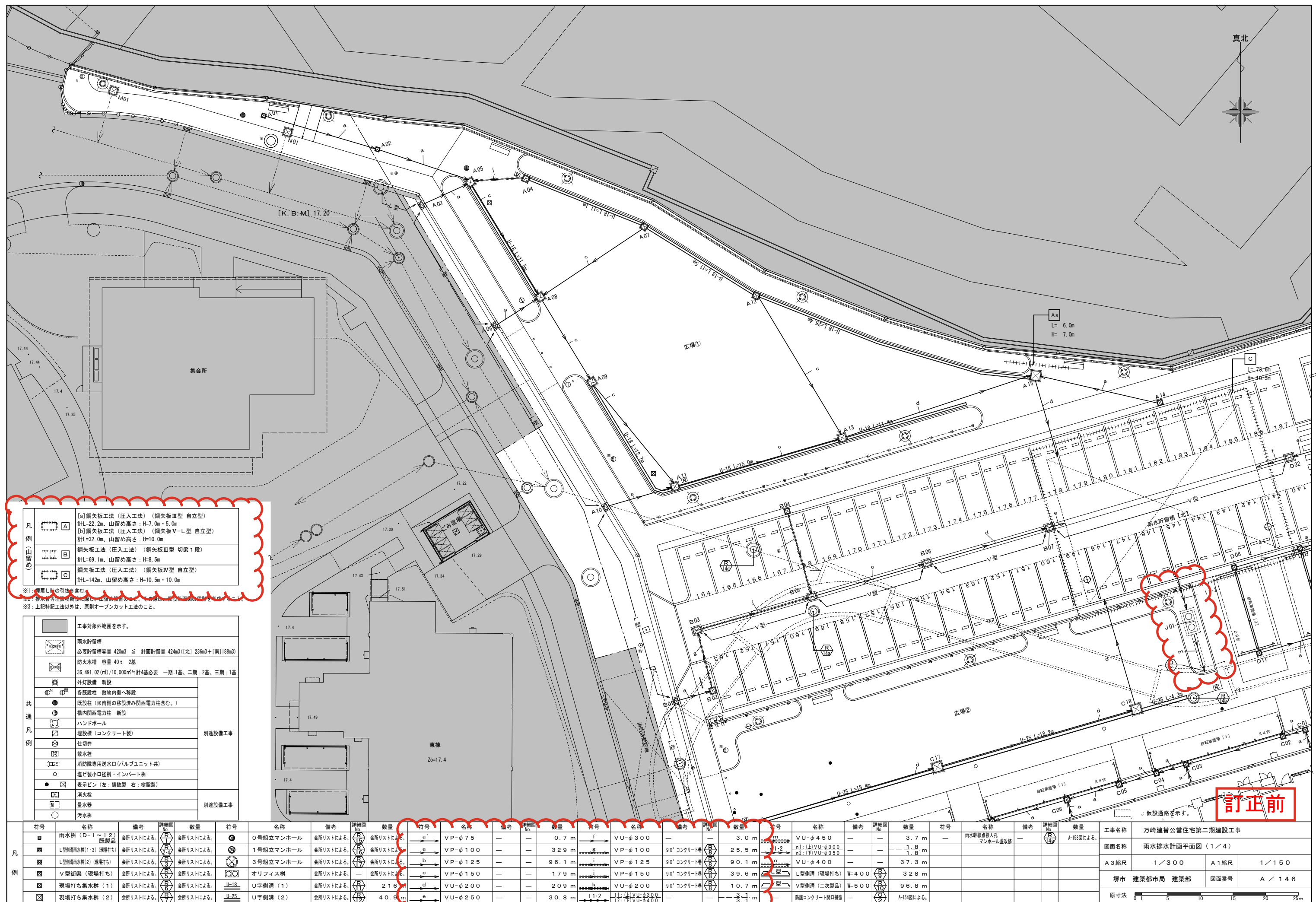
共通 凡例		工事対象外範囲を示す。	別途設備工事
		雨水貯留槽 必要貯留容量 420m ³ ≤ 計画貯留量 424m ³ 〔北〕236m ³ ＋〔南〕188m ³	
		防火水槽 容量 40t 2基 36,491.02(m ³ /t)÷計4基必要 一期：1基、二期：2基、三期：1基	
		外灯設備 新設	
		各既設柱 敷地内側へ移設	
		既設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	
		構内関西電力柱 新設	
		ハンドボール	
		埋設槽（コンクリート製）	
		仕切弁	
別途設備工事		散水栓	別途設備工事
		消防隊専用送水口（バルブユニット共）	
		塩ビ製小口径樹・インバート樹	
		表示ピン（左：鋼鉄製 右：樹脂製）	
		消火栓	
		量水器	
		汚水樹	

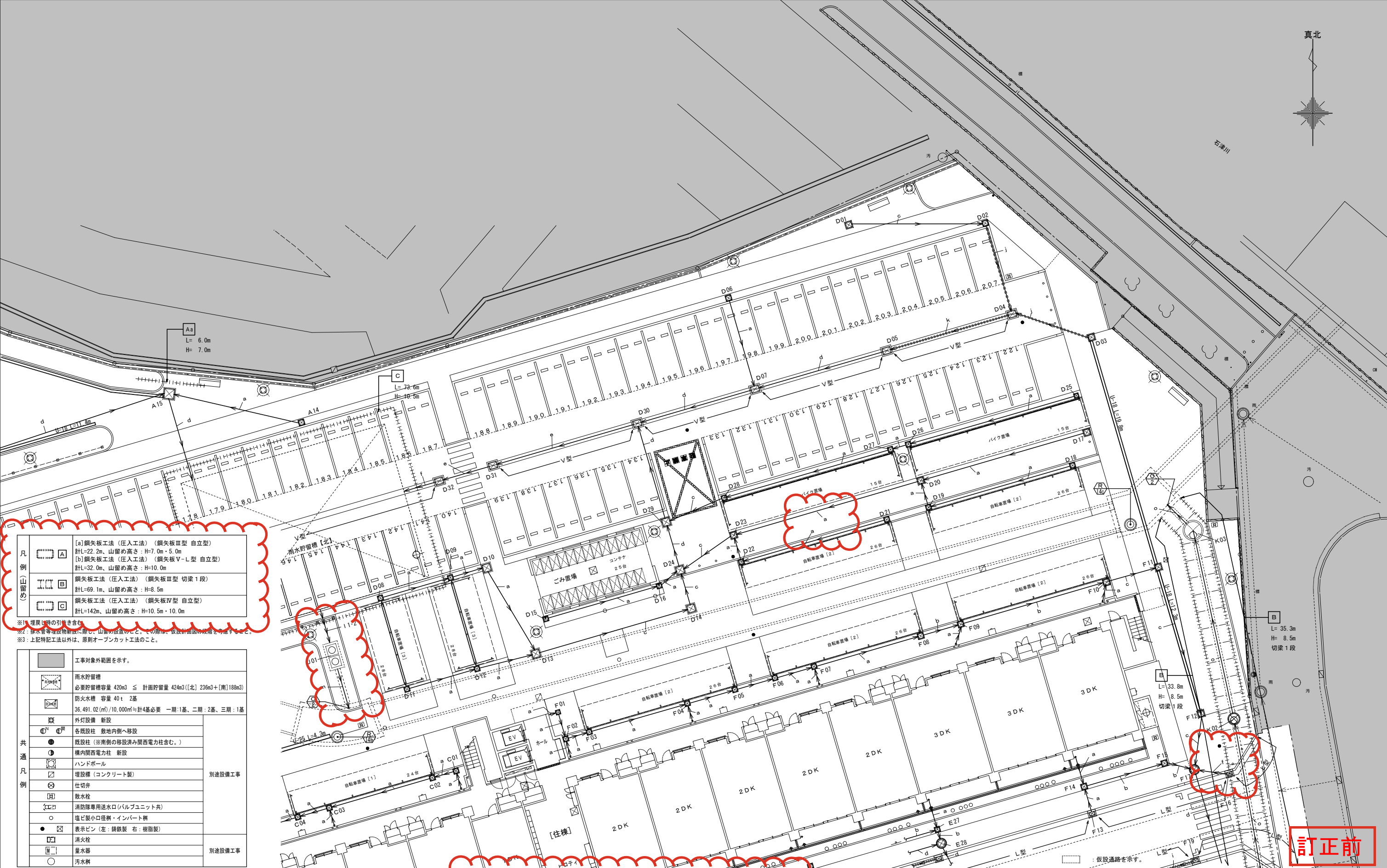
凡例	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量
		雨水樹（D=1～12） 既製品	会所リストによる。		会所リストによる。		VP-φ75	—	—	0.7 m		VU-φ300	—	—	3.0 m		VU-φ450	—	—	3.7 m
		L型側溝雨水樹（1・3）（現場打ち）	会所リストによる。		会所リストによる。		VP-φ100	—	—	329 m		VP-φ100	90°コンクリート巻		25.5 m		n1：L型VU-φ300 n2：F型VU-φ350	—	—	1.8 m
		L型側溝雨水樹（2）（現場打ち）	会所リストによる。		会所リストによる。		VP-φ125	—	—	96.1 m		VP-φ125	90°コンクリート巻		90.1 m		VU-φ400	—	—	37.3 m
		V型側溝（現場打ち）	会所リストによる。		会所リストによる。		オリフィス樹	会所リストによる。	—	会所リストによる。		VP-φ150	90°コンクリート巻		39.6 m		L型側溝（現場打ち）	W=400		32.8 m
		現場打ち集水樹（1）	会所リストによる。		会所リストによる。		U字側溝（1）	会所リストによる。		216 m		VU-φ200	90°コンクリート巻		10.7 m		V型側溝（二次製品）	W=500		96.8 m
		現場打ち集水樹（2）	会所リストによる。		会所リストによる。		U字側溝（2）	会所リストによる。		40.9 m		VU-φ250	—	—	30.8 m		防護コンクリート開口補強	—		A-154図による。

：仮設道路を示す。

訂正前

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
図面名称	雨水排水計画平面図（全体）			
A3縮尺	1／300	1／500	A1縮尺	1／150 1／250
堺市 建築都市局 建築部	図面番号		A / 145	
原寸法				





凡例	[a]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m [b]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅴ-L型 自立型） 計L=32.0m、山留め高さ：H=10.0m	[c]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁1段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m [d]鋼矢板工法（圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m

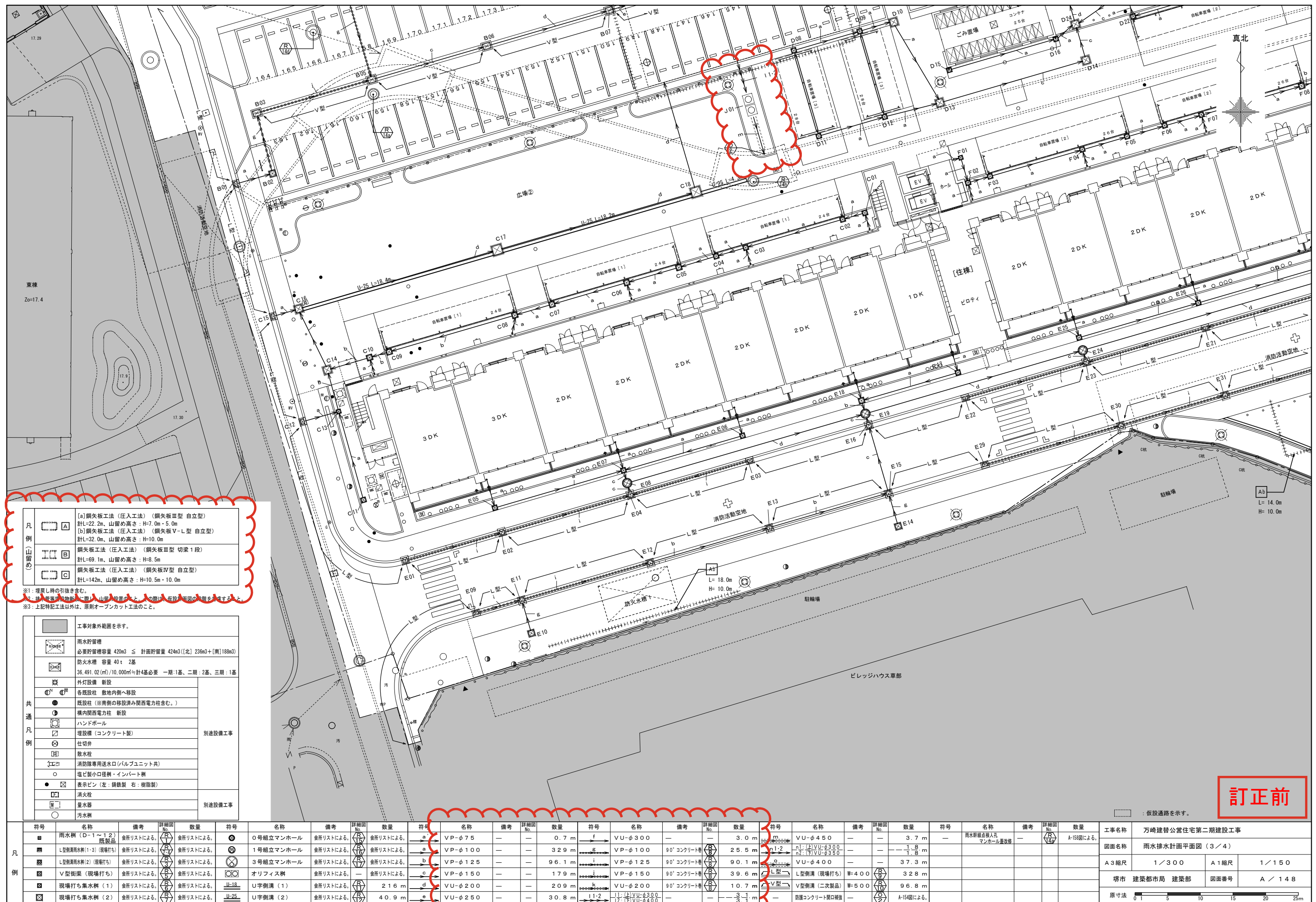
※1：埋戻し時の引ききり
※2：排水管等埋設物新設に際し、山留め設置のこと。この際は、仮設計画図の改訂を要する。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

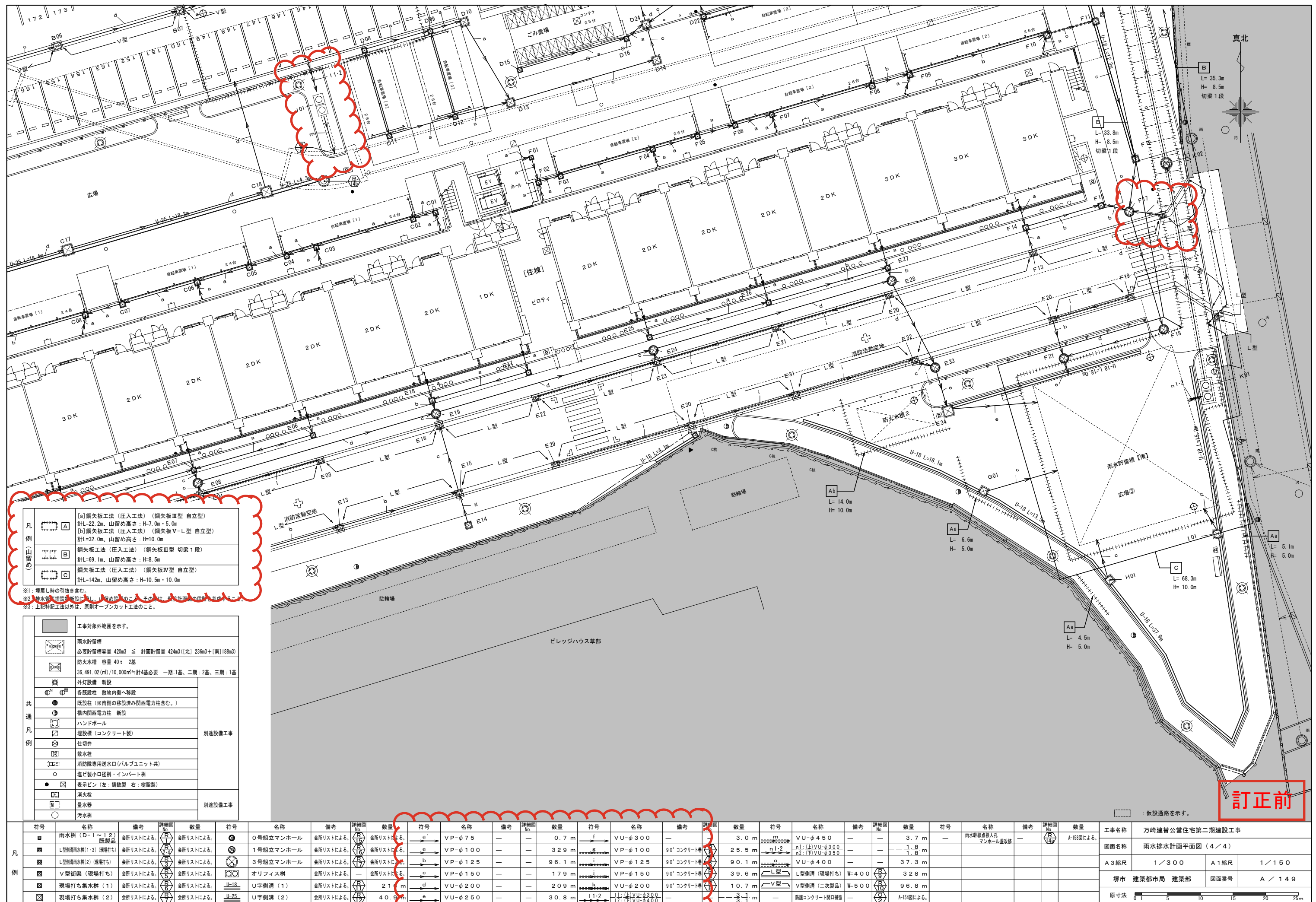
共通凡例	工事対象外範囲を示す。	
	雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m ³ ≤ 計画貯留量 424m ³ 〔〔北〕236m ³ +〔南〕188m ³ 〕	
	防火水槽 容量 40 t 2基 36,491.02(m ³)/10,000m ³ ≒計4基必要 一期：1基、二期：2基、三期：1基	
	外灯設備 新設	
	既設柱 敷地内側へ移設	
	埋設管（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	
	構内関西電力柱 新設	
	ハンドポール	
	埋設管（コンクリート製）	
	仕切弁	
別途設備工事	散水栓	
	消防隊専用送水口（バルブユニット共）	
	塩ビ製小口径樹・インバート樹	
	表示ピン（左：鋼鉄製 右：樹脂製）	
	消火栓	
	量水器	
	汚水樹	
	別途設備工事	
	別途設備工事	
	別途設備工事	

凡例	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量			
	■	雨水樹（D=1～12）既製品	会所リストによる。	R-1	会所リストによる。	○	0号組立マンホール	会所リストによる。	R-15	会所リストによる。	a	VP-φ75	—	—	0.7 m	f	VU-φ300	—	—	3.0 m	—	—	雨水幹線点検入孔マンホール蓋改修	—	△ A49	A-15図による。		
	■	L型側溝雨水樹（1・3）（現場打ち）	会所リストによる。	R-2	会所リストによる。	○	1号組立マンホール	会所リストによる。	R-16	会所リストによる。	e	VP-φ100	—	—	3.29 m	g	VP-φ100	90°コンクリート巻	8	25.5 m	n1: (F)VU-φ300 n2: (F)VU-φ350	—	—	1.8 m	—	△ A49	A-15図による。	
	■	L型側溝雨水樹（2）（現場打ち）	会所リストによる。	R-3	会所リストによる。	○	3号組立マンホール	会所リストによる。	R-17	会所リストによる。	b	VP-φ125	—	—	9.6.1 m	i	VP-φ125	90°コンクリート巻	8	90.1 m	—	—	—	—	37.3 m	—	—	—
	■	V型側溝（現場打ち）	会所リストによる。	R-4	会所リストによる。	○	オリフィス樹	会所リストによる。	—	—	c	VP-φ150	—	—	1.79 m	j	VP-φ150	90°コンクリート巻	8	39.6 m	L型側溝（現場打ち）	W=400	8	32.8 m	—	—	—	
	■	現場打ち集水樹（1）	会所リストによる。	R-6	会所リストによる。	U-18	U字側溝（1）	会所リストによる。	—	216 m	d	VU-φ200	—	—	2.09 m	k	VU-φ200	90°コンクリート巻	8	10.7 m	V型側溝（二次製品）	W=500	8	96.8 m	—	—	—	
	■	現場打ち集水樹（2）	会所リストによる。	R-7	会所リストによる。	U-25	U字側溝（2）	会所リストによる。	—	40.9 m	e	VU-φ250	—	—	30.8 m	l1: (F)VU-φ300 l2: (F)VU-φ400	—	—	—	3.1 m	—	—	防凍コンクリート開口補強	—	○ A2	A-15図による。		
	■	雨水貯留槽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事			
図面名称	雨水排水計画平面図（2/4）			
A3縮尺	1/300	A1縮尺	1/150	
堺市 建築都市局 建築部	図面番号	A	147	
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m			

訂正前

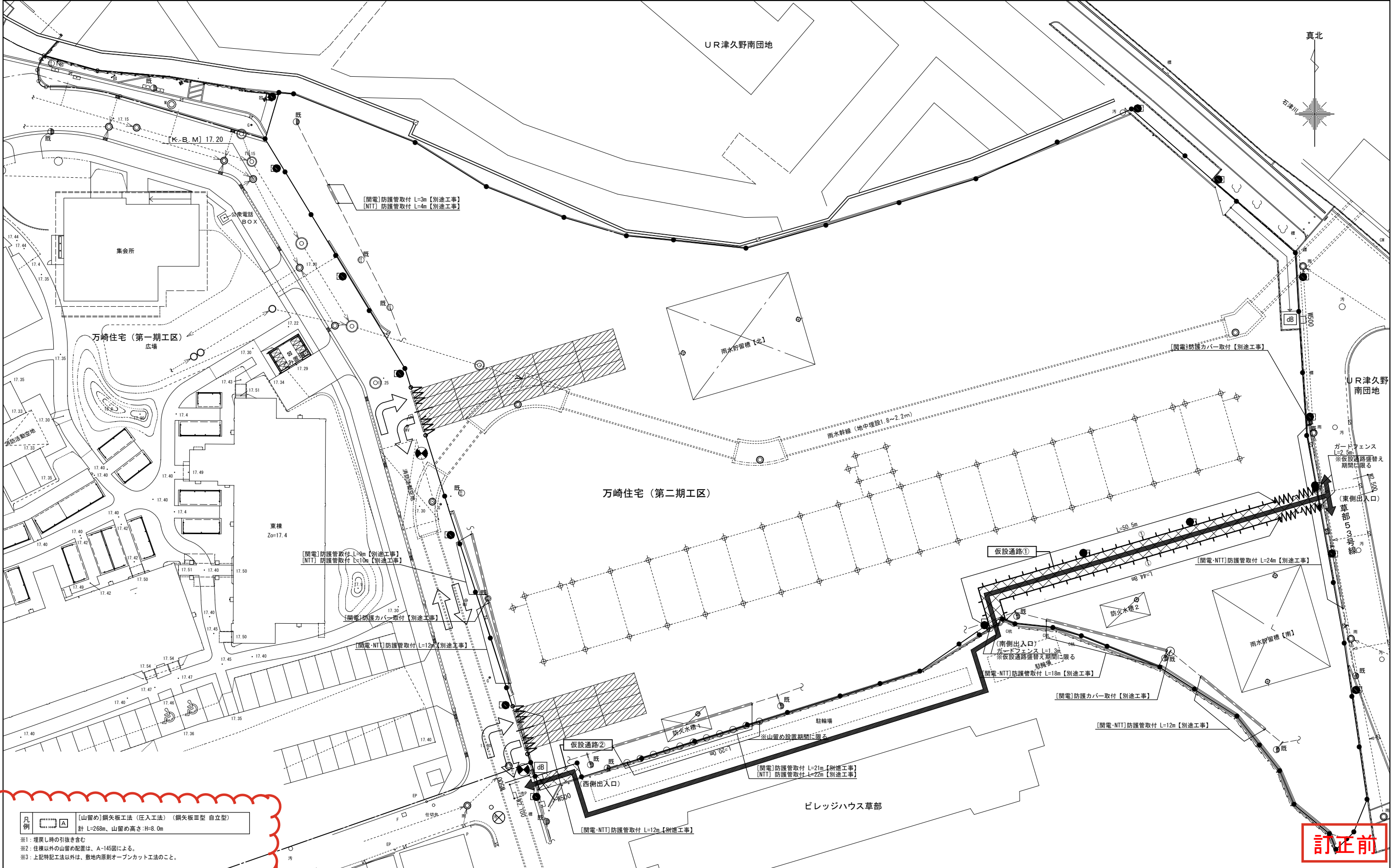




会 所 リ ス ト																	
系統	樹番号	樹間 No.	樹天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	樹底高 (m)	樹深さ(H) (m)	樹底-管底 (m)	樹 仕 様	樹 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	樹間距離 (m)	配管勾配 (0/00)	排水番号 仕様	備 考	
A	A 0 1		17.080	—	16.760	16.550	0.420	0.100	雨水樹(D-1)〔既製品〕 □300×300×H420	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 0 2	A01 → A02	17.065	16.654	16.640	16.465	0.600	0.175	雨水樹(D-2)〔既製品〕 □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	11.416	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 0 3		17.086	—	16.586	16.486	0.600	0.100	L型側溝雨水樹(1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2・5〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 0 4		17.200	—	16.750	16.600	0.600	0.150	現場打ち集水樹(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ150	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕 流出管：根巻補強 90°	
	A 0 5	A02 → A05	17.123	16.548 16.541 16.703	16.448	16.223	0.900	0.225	現場打ち集水樹(1) □600×600×H900	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ100 VPφ100 VPφ150	VPφ100 VPφ150	9.120 4.785 5.264	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕 〔R〕 〔T〕	A04 流入管：根巻補強 90°	
	A 0 6		17.120	—	16.620	16.520	0.600	0.100	L型側溝雨水樹(1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2・5〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 0 7		17.215	—	16.765	16.615	0.600	0.150	現場打ち集水樹(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ150	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 0 8	A05 A06 → A08 A07	17.180	16.324 16.575 16.654	16.310	16.130	1.050	0.180	現場打ち集水樹(1) □600×600×H1,050	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150 VPφ100 VPφ150	VPφ100 VPφ100	12.337 4.750 11.925	1/100 1/100 1/100	〔R〕 〔T〕 〔R〕 〔T〕		
	A 0 9	A08 → A09	17.200	—	16.205	16.000	1.200	0.205	現場打ち集水樹(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150	VPφ150	11.925	1/100	〔R〕 〔T〕		
	A 1 0		17.173	—	16.673	16.573	0.600	0.100	L型側溝雨水樹(1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2・5〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 1 1	A09 A10 → A11	17.259	16.088 16.756	16.070	15.900	1.350	0.170	現場打ち集水樹(2) □800×800×H1,350	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150 VPφ100	VPφ100 VPφ100	12.308 6.633	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕		
	A 1 2		17.230	—	16.780	16.630	0.600	0.150	現場打ち集水樹(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ150	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 1 3	A11 A12 → A13	17.250	15.910 16.626	15.900	15.750	1.500	0.150	現場打ち集水樹(2) □800×800×H1,500	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150 VPφ150	VUφ200	16.000 15.325	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕		
	A 1 4		17.265	—	16.875	16.775	0.490	0.100	雨水樹(D-3)〔既製品〕 □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	A 1 5	A13 A14 → A15	17.250	15.713 16.757	15.703	14.450	1.800	1.000	現場打ち集水樹(2) □800×800×H1,800	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VUφ200 VPφ100	VUφ200	18.690 11.719	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕		
	貯留槽〔北〕	A15 → 貯留槽〔北〕	17.140	15.303	—	14.147	2.993	—	コンクリート打放し	—	HPφ200	—	7.737	1/100	—		
	B	B 0 1		17.221	—	16.794	16.621	0.600	0.160	L型側溝雨水樹(1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2・5〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
		B 0 2	B01 → B02	17.355	16.749	16.735	16.535	0.820	0.200	雨水樹(D-6)〔既製品〕 □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ150	3.530	1/100	〔R〕 〔T〕	流出管：根巻補強 90°
B 0 3		B02 → B03	17.230	16.678	16.668	16.480	0.750	0.188	V型街渠樹(現場打ち) □650×500×H750	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150	VPφ150	5.612	1/100	〔R〕 〔T〕	流出管：根巻補強 90°	
B 0 4			17.357	—	16.967	16.867	0.490	0.100	雨水樹(D-3)〔既製品〕 □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ150	—	—	〔R〕 〔T〕	流出管：根巻補強 90°	
B 0 5		B03 B04 → B05	17.202	16.558 16.885	16.452	16.302	0.900	0.150	V型街渠樹(現場打ち) □650×500×H900	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150 VPφ150	VPφ150	11.000 8.165	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕	A03・A04 流入管：根巻補強 90°	
B 0 6		B05 → B06	17.173	16.574 16.294	16.294	16.123	1.050	0.150	V型街渠樹(現場打ち) □650×500×H1,050	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150 VPφ150	VUφ200	18.094 18.094	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕		
B 0 7		B06 → B07	17.143	16.155	15.793	15.643	1.500	0.150	V型街渠樹(現場打ち) □650×500×H1,500	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕	VUφ200	VUφ250	11.745	1/100	〔R〕 〔T〕		
貯留槽〔北〕		B07 → 貯留槽〔北〕	17.140	15.293	—	14.147	2.993	—	コンクリート打放し	—	VUφ250	—	7.737	1/100	—		
C		C 0 1	堅樋 → C01	17.365	17.000	16.990	16.765	0.600	0.225	雨水樹(D-2)〔既製品〕 □300×300×H600	コンクリート蓋	—	—	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
		C 0 2	C01 → C02	17.365	16.968	16.958	16.765	0.600	0.193	雨水樹(D-2)〔既製品〕 □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	2.130	1/100	〔R〕 〔T〕	
	C 0 3	C02 堅樋 → C03	17.365	16.865 17.000	16.855	16.675	0.690	0.180	雨水樹(D-4)〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	9.270 —	1/100 —	〔R〕 〔T〕		
	C 0 4	C03 → C04	17.365	16.826	16.815	16.675	0.690	0.140	雨水樹(D-4)〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	2.830	1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 0 5	C04 → C05	17.365	16.779	16.765	16.545	0.820	0.220	雨水樹(D-6)〔既製品〕 □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	3.579	1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 0 6	C05 堅樋 → C06	17.365	16.715 17.000	16.705	16.545	0.820	0.160	雨水樹(D-6)〔既製品〕 □400×400×H820	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ100	4.990 —	1/100 —	〔R〕 〔T〕		
	C 0 7	C06 → C07	17.365	16.633	16.623	16.485	0.880	0.138	雨水樹(D-8)〔既製品〕 □450×450×H880	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	7.150	1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 0 8	C07 堅樋 → C08	17.365	16.587 17.000	16.577	16.365	1.000	0.212	雨水樹(D-10)〔既製品〕 □500×500×H1,000	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ125	3.559 —	1/100 —	〔R〕 〔T〕		
	C 0 9	C08 → C09	17.365	16.456	16.446	16.265	1.100	0.181	雨水樹(D-12)〔既製品〕 □600×600×H1,100	コンクリート蓋	VPφ125	VPφ125	14.940	1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 1 0	C09 堅樋 → C10	17.365	16.427 17.000	16.417	16.265	1.100	0.152	雨水樹(D-12)〔既製品〕 □600×600×H1,100	コンクリート蓋	VPφ125 VPφ100	VPφ125	1.969 —	1/100 —	〔R〕 〔T〕		
	C 1 1		17.318	—	16.918	16.718	0.600	0.200	雨水樹(D-2)〔既製品〕 □300×300×H600	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	C 1 2		17.236	—	16.776	16.636	0.600	0.140	L型側溝雨水樹(1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2・5〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	C 1 3	C11 C12 → C13	17.318	16.833 16.741	16.728	16.628	0.690	0.100	雨水樹(D-4)〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100 VPφ100	VPφ125	8.441 3.443	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 1 4	C10 C13 → C14	17.400	16.376 16.688	16.366	16.200	1.200	0.166	現場打ち集水樹(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ100 VPφ125	VPφ150	4.047 3.954	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 1 5		17.236	—	16.736	16.636	0.600	0.100	L型側溝雨水樹(1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2・5〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	C 1 6	C14 C15 → C16	17.300	16.309 16.715	16.293	16.100	1.200	0.193	現場打ち集水樹(1) □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VPφ150 VPφ100	VUφ200	6.202 2.446	1/100 1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 1 7	C16 → C17	17.300	16.109	16.090	15.800	1.500	0.290	現場打ち集水樹(2) □800×800×H1,500	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VUφ200	VUφ200	19.021	1/100	〔R〕 〔T〕		
	C 1 8	C17 → C18	17.300	15.907	15.885	15.650	1.650	0.235	現場打ち集水樹(2) □800×800×H1,650	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	VUφ200	VUφ200	19.021	1/100	〔R〕 〔T〕		
	貯留槽〔北〕	C18 → 貯留槽〔北〕	17.140	15.300	—	14.147	2.993	—	コンクリート打放し	—	VUφ200	—	7.737	1/100	—		
D	D 0 1		17.150	—	16.743	16.550	0.600	0.193	現場打ち集水樹(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ150	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕	
	D 0 2	D01 → D02	17.105	16.625	16.615	16.415	0.690	0.200	雨水樹(D-4)〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ150	VPφ150	11.727	1/100	〔R〕 〔T〕	流出管：根巻補強 90°	
	D 0 3		17.120	—	16.670	16.520	0.600	0.150	現場打ち集水樹(1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 〔溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ〕	—	VPφ150	—	—	〔R〕 〔T〕	流出管：根巻補強 90°	
	D 0 4	D02 D03 → D04	16.953	16.533 16.597	16.353	16.203	0.750	0.150	V型街渠樹(現場打ち) □650×500×H750	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕	VPφ150 VPφ150	VUφ200	8.199	1/100	〔R〕 〔T〕	流入管：根巻補強 90°	

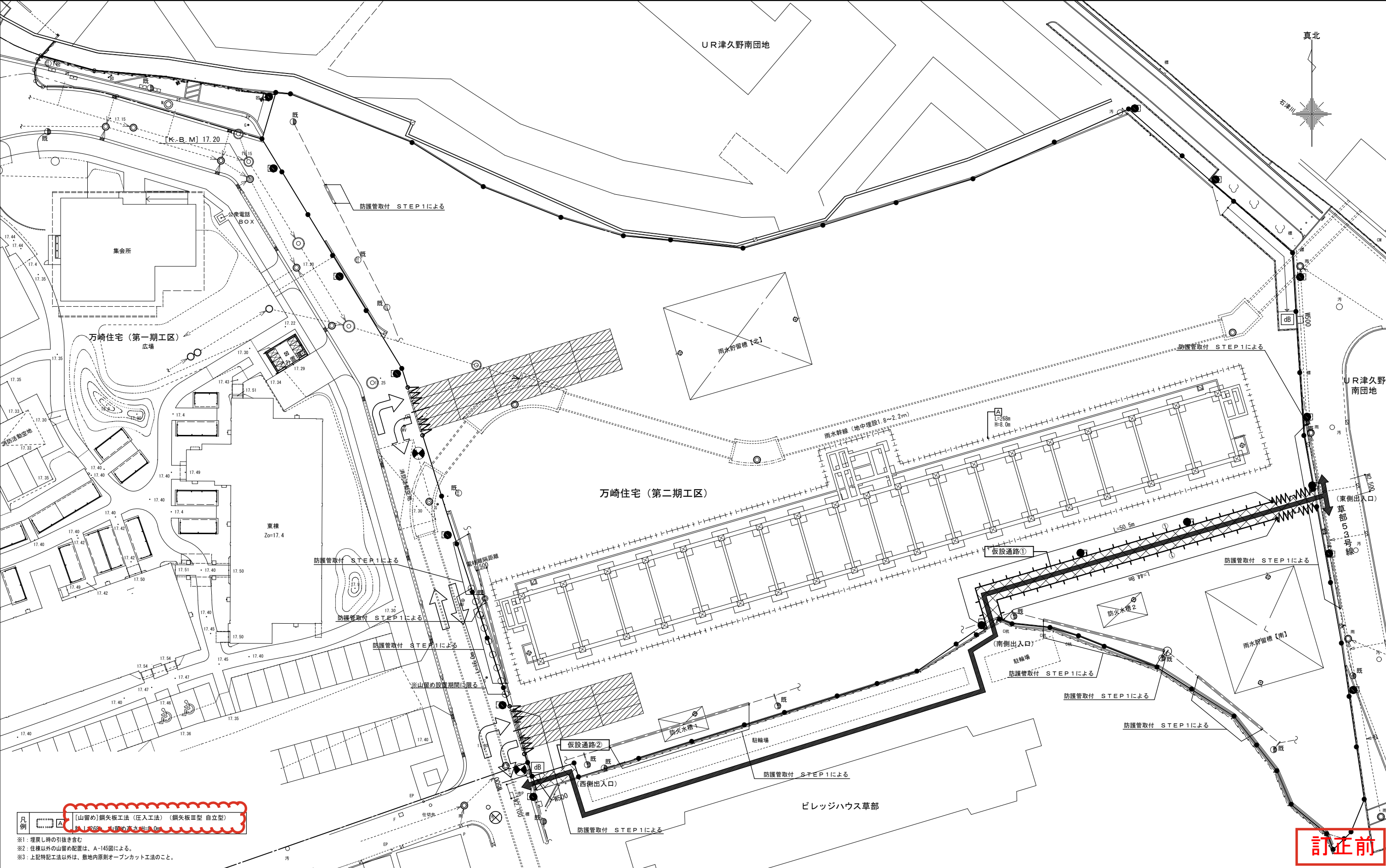
系統	会所リスト														備考	
	樹番号	樹間 No.	樹天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	樹底高 (m)	樹深さ(H) (m)	樹底-管底 (m)	樹 仕 様	樹 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	樹間距離 (m)	配管勾配 (0/00)		排水番号 仕様
E	D 0 5	D04 → D05	16.980	16.240	16.230	16.080	0.900	0.150	V型街渠樹（現場打ち） □650×500×H900	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕	VUφ200	VUφ200	11.288	1/100	〔R〕 〔T〕	流入管：根巻補強 90° 〔第1樹〕
	D 0 6		17.166	—	16.676	16.476	0.690	0.200	雨水樹（D-4）〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	
	D 0 7	D05 → D07	17.011	16.111 16.594	16.061	15.811	1.200	0.250	V型街渠樹（現場打ち） □650×500×H1,200	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕	VUφ200 VPφ100	VUφ200	11.830 8.199	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 0 8		17.320	—	17.020	16.830	0.490	0.190	雨水樹（D-3）〔既製品〕 □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	
	D 0 9	D08 → D09	17.320	16.957	16.947	16.830	0.490	0.117	雨水樹（D-3）〔既製品〕 □350×350×H490	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	6.300	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 1 0	D09 → D10	17.330	16.915	16.880	16.730	0.600	0.150	現場打ち集水樹（1） □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-2〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	VPφ100	VPφ100	3.145	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 1 1		17.265	—	16.965	16.775	0.490	0.190	雨水樹（D-3）〔既製品〕 □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 1 2	D11 → D12	17.265	16.902	16.892	16.775	0.490	0.117	雨水樹（D-3）〔既製品〕 □350×350×H490	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	6.300	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 1 3	D10 → D13	17.290	16.793 16.840	16.690	16.540	0.750	0.150	現場打ち集水樹（1） □600×600×H750	鋼製グレーチング蓋〔T-2〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	VPφ100 VPφ100	VPφ150	8.669 5.168	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 1 4	D13 → D14	17.290	16.550	16.515	16.365	0.900	0.150	現場打ち集水樹（1） □600×600×H900	鋼製グレーチング蓋〔T-2〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	VPφ150	VPφ150	13.971	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 1 5		17.300	—	16.822	16.610	0.690	0.212	雨水樹（D-4）〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 1 6	D15 → D16	17.300	16.720	16.710	16.610	0.690	0.258	雨水樹（D-4）〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VUφ100	10.200	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 1 7		17.350	—	17.000	16.750	0.600	0.250	現場打ち集水樹（1） □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 1 8		17.365	—	17.045	16.945	0.420	0.100	雨水樹（D-1）〔既製品〕 □300×300×H420	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	
	D 1 9	D18 → D19	17.365	16.915	16.905	16.765	0.600	0.140	雨水樹（D-2）〔既製品〕 □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	12.945	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 2 0	D17 → D20	17.350	16.850 16.880	16.840	16.600	0.750	0.240	現場打ち集水樹（1） □600×600×H750	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	VPφ100 VPφ100	VPφ100	14.930 2.430	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 2 1		17.365	—	17.045	16.945	0.420	0.100	雨水樹（D-1）〔既製品〕 □300×300×H420	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 2 2	D21 → D22	17.365	16.914	16.904	16.765	0.600	0.139	雨水樹（D-2）〔既製品〕 □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	13.075	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 2 3	D20 → D23	17.350	16.671 16.879	16.661	16.450	0.900	0.211	現場打ち集水樹（1） □600×600×H900	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	VPφ100 VPφ100	VPφ150	16.830 2.430	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 2 4	D14 → D24	17.380	16.480 16.687 16.605	16.470	16.180	1.200	0.290	現場打ち集水樹（1） □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	VPφ150 VPφ100 VPφ150	VUφ200	3.439 2.290 5.546	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 2 5		17.365	—	17.025	16.875	0.490	0.150	雨水樹（D-3）〔既製品〕 □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 2 6	D25 → D26	17.365	16.949	16.910	16.675	0.690	0.235	雨水樹（D-4）〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	7.550	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 2 7	D26 → D27	17.365	16.834	16.824	16.675	0.690	0.149	雨水樹（D-4）〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	7.550	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 2 8	D27 → D28	17.365	16.808	16.798	16.675	0.690	0.123	雨水樹（D-4）〔既製品〕 □350×350×H690	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ150	1.600	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 2 9	D24 → D29	17.350	16.429 16.743	16.419	16.150	1.200	0.290	現場打ち集水樹（1） □600×600×H1,200	鋼製グレーチング蓋〔T-6〕 （溶融亜鉛メッキ・縦目/ノンスリップ）	VPφ200 VPφ150	VUφ200	4.065 5.405	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 3 0	D07 → D30	17.038	15.955 16.327	15.788	15.538	1.500	0.250	V型街渠樹（現場打ち） □650×500×H1,500	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕	VUφ200 VPφ200	VUφ200	10.593 9.120	1/100	〔R〕 〔T〕	
	D 3 1	D30 → D31	17.072	15.658	15.572	15.422	1.650	0.150	V型街渠樹（現場打ち） □650×500×H1,650	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕	VUφ250	VUφ250	12.971	1/100	〔R〕 〔T〕	〔第1樹〕
	D 3 2	D31 → D32	17.084	15.523	15.513	15.284	1.800	0.229	V型街渠樹（現場打ち） □650×500×H1,800	鉄製V形グレーチング蓋〔T-6〕	VUφ250	VUφ300	4.840	1/100	〔R〕 〔T〕	
	貯留槽〔北〕	D32 → 貯留槽〔北〕	17.140	15.206	—	14.147	2.993		コンクリート打放し	—	VUφ300	—	7.737	1/100	—	

<



訂正前

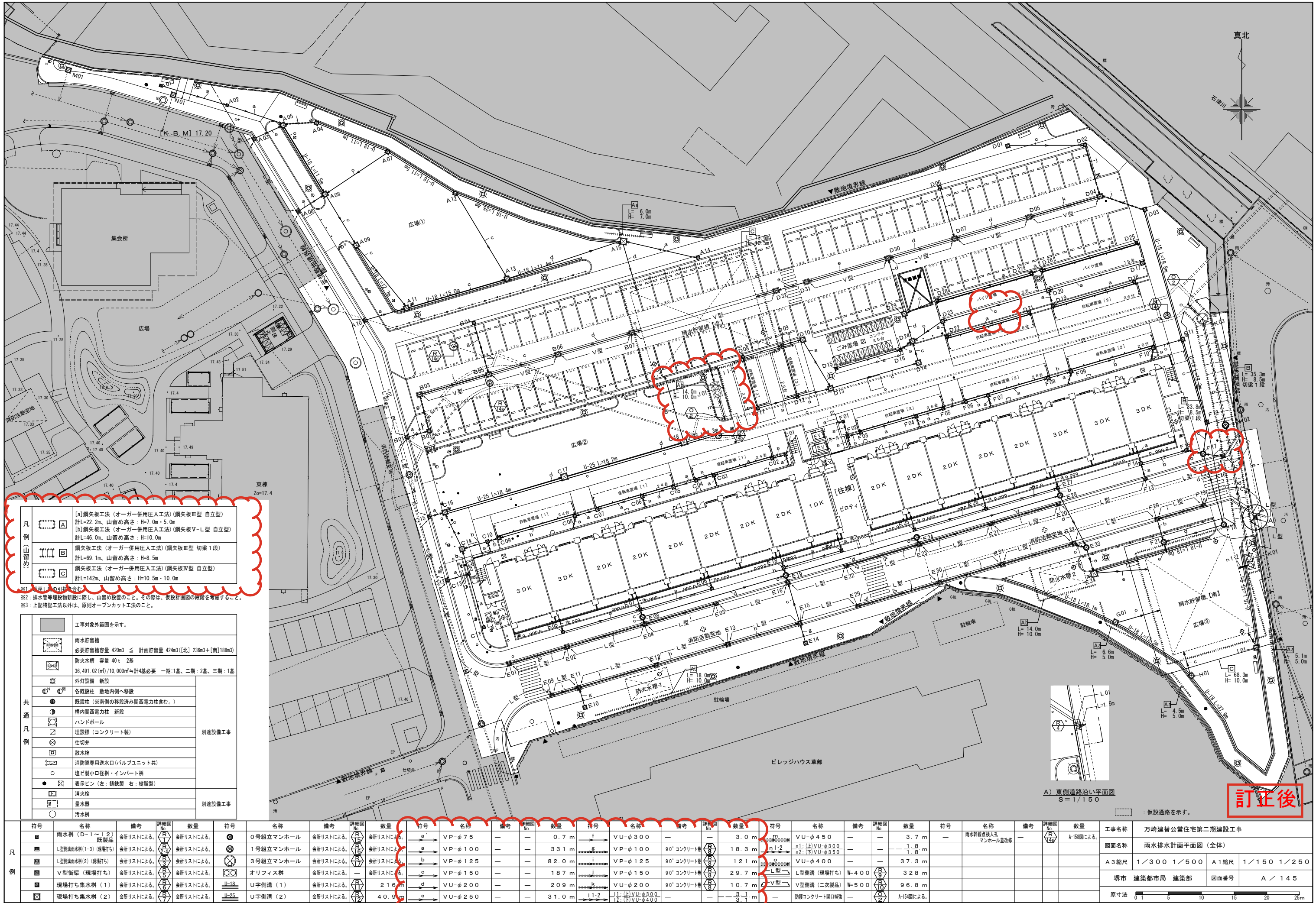
共通 凡例	仮囲い：万能鋼板 H=3.0m L=400m (存置) + 防音シート H=1.8mm L=487m (新設) 万能鋼板 H=3.0m L=27.2m (盛替) + 防音シート H=1.8mm L=20.0m (撤去・新設)				工事車両通行経路				騒音振動表示装置 計2箇所 (新設) ※記録装置付				仮設通路部ガードフェンス H=1.8m L=95.3m (盛替)				■設備凡例				工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事			
	仮囲い：ガードフェンス H=1.8m 範囲 仮設通路①出入口：L=1.3m+2.5m 計3.8m (新設) 山留め範囲：L=20.0m (新設)				安全監視員 (常駐) 計7人				クリアパネル H=3.0m 計3箇所 (存置)				パネルキャストゲート (W6.3m×H2.0m) 計2箇所 (盛替)				既設電力柱を示す 移設対象関西電力柱及びNTT柱を示す				図面名称 [参考] 仮設計画図 (STEP1)			
	パネルゲート (W7.2m×H4.5m) 計1箇所 (存置) 計1箇所 (盛替) ※敷地北側ゲートを南側に盛替え				安全監視員 (スポット) 計50人				仮設通路① 計137㎡ (盛替) ※砕石 撤去・新設				仮設通路歩行者経路				【特記事項】				A3縮尺 1/500 A1縮尺 1/250			
					防火灯 (存置)				仮設通路② 計13.3㎡ (存置)				養生鉄板 (1,524×6,096×t22) 334㎡ (新設)				・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。				堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A/163			
					防火灯 計4箇所 (存置) 【別途工事】																原寸法 0 1 5 10 15 20 25m			



共通 凡例		仮囲い： 万能鋼板 H=3.0m L=471m (存置) + 防音シートH=1.8mm L=471m (存置) 万能鋼板 H=3.0m L=16.0m (盛替) + 防音シートH=1.8mm L=16.0m (撤去・新設)		仮囲い： ガードフェンス H=1.8m 範囲 山留め範囲：L=16.0m (新設)		パネルゲート (W7.2m×H4.5m) 計2箇所 (存置)	
	工事車両通行経路						
	安全巡視員 (常駐) 計7人						
	安全巡視員 (スポット) 計50人						
共通 凡例		防犯灯 (存置)		防犯灯 計4箇所 (存置) 【別途工事】		騒音振動表示装置 計2箇所 (存置) ※記録装置付	
	dB						
	W500						
	クリアパネル H=3.0m 計3箇所 (存置)						
共通 凡例		仮設通路① 計137㎡ (存置)		仮設通路② 計13.3㎡ (存置)		仮設通路部ガードフェンス H=1.8m L=95.3m (存置)	
	パネルキャスターゲート (W6.3m×H2.0m) 計2箇所 (存置)						
	仮設通路歩行者経路						
	養生鉄板 (1,524×6,096×t22) 334㎡ (存置)						
共通 凡例							既設電力柱を示す 移設対象間電力柱及びNTT柱を示す
	【設備凡例】						
	既設電力柱を示す						
	移設対象間電力柱及びNTT柱を示す						
共通 凡例							【特記事項】 ・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、 上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。
	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事						
	図面名称 [参考]仮設計画図 (STEP2)						
	A3縮尺 1/500 A1縮尺 1/250						
共通 凡例							原寸法 0 1 5 10 15 20 25m
	図面番号 A / 164						
	原寸法						
	原寸法						

特記仕様書 [営繕編]														No.7					
章	項 目	特 記 事 項				章	項 目	特 記 事 項				章	項 目	特 記 事 項					
14	6 金属成形板張り	種別 ・ 図示による ・ 表面処理 ・ 図示による 取付け用下地 ※標準仕様書 14.4)による ・ 図示による 伸縮調整継手 ・ 設ける（施工箇所） ・ 図示 ・ 設けない	⑥ 床コンクリートの直均し仕上げ	特 記 事 項 下記以外は、標準仕様書 表6.2.5及び標準仕様書15.4.2)による 施工箇所 平たんさ (mm) 備 考 フリーアクセスフロア 1mにつき10以下 塗料塗りの場合も含む パネル構造）範囲 フリーアクセスフロア 3mにつき 7以下 （溝構造）範囲				15	左官工事	特 記 事 項 ① 複層仕上塗材 ・ 軽量骨材仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工 法 耐候性 防火材料 ・ 複層塗材C E ・ 凸部処理 ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 複層塗材R E ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 複層塗材Si ・ ゆず肌状 ・ 小粒 ・ 複層塗材E ・ 可とう形複層塗材C E ・ 凸部処理 ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 防水形複層塗材C E ・ 凸部処理 ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 防水形複層塗材R E ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 防水形複層塗材E ・ ゆず肌状 ・ 塗 ・ 適用する ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 吹付け用軽量塗材 ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ 適用する ・ 適用しない ・ こて塗用軽量塗材 ・ 平たん状 ・ こて塗り ・ 適用する ・ 適用しない				16	4 アルミニウム製建具	性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 図示による 外部に面する建具の種類 ※ 標準仕様書 表 16.2.1、表16.2.2)による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 遮音性の等級（ 表面処理 外部に面する建具（表 14.2.1） 種別 ※ B B-1種 ・ B B-2種 着色 ※ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具（表 14.2.1） 種別 ※ B C-1種 ・ B C-2種 着色 ※ 標準色 ・ 特注色 ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 結露水の処理方法 ・ 図示による ・ 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ 木下地の内付け建具 ・ 適用する（建具の製造所の仕様） ・ 適用しない			
				7 仕上塗材仕上げ 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 材料 ① 薄付け仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工 法 吸放湿性 防火材料 ・ 外装薄塗材Si ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 凹凸状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 防水形外装薄塗材E ・ ゆず肌状 ・ 吹付け ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 外装薄塗材S ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ 適用する ・ 適用しない ・ 内装薄塗材C ・ 凹凸状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 内装薄塗材L ・ 平たん状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ ゆず肌状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ さざ波状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 内装薄塗材Si ・ 砂壁状じゅらく ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 内装薄塗材E ・ ゆず肌状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 平たん状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 凹凸状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ さざ波状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 京壁状じゅらく ・ 吹付け ・ こて塗り ・ 適用する ・ 適用しない ・ ゆず肌状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ 適用する ・ 適用しない ・ 平たん状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ 適用する ・ 適用しない ・ 凹凸状 ・ 吹付け ・ こて塗り ・ 適用する ・ 適用しない															
15	1 ラス系下地	下地の種類 ・ 通気構法（ ・ 二層下地 ・ 単層下地） ・ 直張り工法 （ ・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地） ・ 図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合） 材料 ラス材及び補強用プラス 材料記号（※ K ・ ） 種類及び単位面積当たりの質量 ・ 二層下地通気構法 ・ 波形ラス（W700） ・ こぶラス（K800） ・ カ骨付きラス（BP700） ・ 単層下地通気構法 ・ リプラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ・ ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※ LS4（耐力壁の場合） ・ ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※ L925TS以上（リプラスC（RC800）の場合） ・ 波形ラス ※ L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合） ・ 施工 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる ・ 直張り工法（ラスシートモルタル下地の場合） 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による ・ 材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類（ ） 厚さ（ mm） せっこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm） 木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）	⑦ 仕上塗材仕上げ	⑧ 下地調整塗材 ※ JIS A 6916規格品 製造所 ※ 仕上塗材の製造所 工法 ※ こて ・ ローラー ・ 吹付け 施工箇所 外部打放し面（床版を除く）で薄付け仕上塗材、複層仕上塗材及び塗装等の下地 内部打放し面で薄付け仕上塗材、複層仕上塗材、塗装及びクロス等の下地 合成樹脂系シーラー ※ 仕上げ塗材全面				16	左官工事	⑨ 網戸等 6 樹脂製建具 性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 外部に面する建具の種類 ※ 標準仕様書 表 16.3.1、表16.3.2)による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・ T-1種 ・ T-2種 ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※ 外部に面する建具は標準仕様書 表 16.3.3)による（等級 ・ ・ 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ガラス ※ 複層ガラス ・ ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ 木下地の内付け建具 ・ 適用する（建具の製造所の仕様） ・ 適用しない									
				2 セっこうボード、その他のボード下地 材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類（ ） 厚さ（ mm） せっこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm） 木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）															
15	3 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ なし ・ あり	⑦ 仕上塗材仕上げ	⑩ ラス系下地 ⑪ セルフレベリング材塗 ⑫ 目地 ⑬ 樹脂混入モルタル				16	左官工事	⑮ セルフレベリング材塗 ⑯ 目地 ⑰ 樹脂混入モルタル				16	左官工事	⑲ 鋼製建具 性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標準仕様書 表 16.4.1、による ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1)による） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ・ ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 点検口の類のくつずりの材料 鋼板類の厚さ (mm) ※ 標準仕様書 表 16.4.2)による ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 標準型鋼製建具の有効内法寸法（標準仕様書 表 16.4.5)による） ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による） ・ ① 有効内法寸法：800mm以上			
				4 木ずり下地 材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉（心去り材） ・															
15	5 モルタル塗り	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所（ ） 形状（ ・ 図示 ・ ） ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける 目地割 ※ 2m2程度（最大目地間隔 3m程度） ・ 種類 ※ 押し目地 ・ ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	⑦ 仕上塗材仕上げ	㉑ 鋼製建具 性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標準仕様書 表 16.4.1、による ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1)による） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ・ ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 点検口の類のくつずりの材料 鋼板類の厚さ (mm) ※ 標準仕様書 表 16.4.2)による ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 標準型鋼製建具の有効内法寸法（標準仕様書 表 16.4.5)による） ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による） ・ ① 有効内法寸法：800mm以上				16	左官工事	㉑ 鋼製建具 性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標準仕様書 表 16.4.1、による ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1)による） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ・ ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 点検口の類のくつずりの材料 鋼板類の厚さ (mm) ※ 標準仕様書 表 16.4.2)による ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 標準型鋼製建具の有効内法寸法（標準仕様書 表 16.4.5)による） ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による） ・ ① 有効内法寸法：800mm以上				16	左官工事	㉑ 鋼製建具 性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標準仕様書 表 16.4.1、による ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1)による） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ・ ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 点検口の類のくつずりの材料 鋼板類の厚さ (mm) ※ 標準仕様書 表 16.4.2)による ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 標準型鋼製建具の有効内法寸法（標準仕様書 表 16.4.5)による） ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による） ・ ① 有効内法寸法：800mm以上			
				6 金属成形板張り 種別 ・ 図示による ・ 表面処理 ・ 図示による 取付け用下地 ※標準仕様書 14.4)による ・ 図示による 伸縮調整継手 ・ 設ける（施工箇所） ・ 図示 ・ 設けない															
15	6 金属既製品及び製作金物	① ドアガード：ごみ置場 ① 別図詳細図による ① ガードパイプ：ごみ置場 ① 別図詳細図による	⑥ 床コンクリートの直均し仕上げ	特 記 事 項 下記以外は、標準仕様書 表6.2.5及び標準仕様書15.4.2)による 施工箇所 平たんさ (mm) 備 考 フリーアクセスフロア 1mにつき10以下 塗料塗りの場合も含む パネル構造）範囲 フリーアクセスフロア 3mにつき 7以下 （溝構造）範囲				15	左官工事	特 記 事 項 ① 複層仕上塗材 ・ 軽量骨材仕上塗材 呼び名 仕上げの形状 工 法 耐候性 防火材料 ・ 複層塗材C E ・ 凸部処理 ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 複層塗材R E ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 複層塗材Si ・ ゆず肌状 ・ 小粒 ・ 複層塗材E ・ 可とう形複層塗材C E ・ 凸部処理 ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 防水形複層塗材C E ・ 凸部処理 ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 防水形複層塗材R E ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 防水形複層塗材E ・ ゆず肌状 ・ 塗 ・ 適用する ・ 吹付け ・ 耐候形3種 ・ 適用する ・ 凹凸状 ・ ローラー ・ 塗 ・ 適用しない ・ 吹付け用軽量塗材 ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ 適用する ・ 適用しない ・ こて塗用軽量塗材 ・ 平たん状 ・ こて塗り ・ 適用する ・ 適用しない				16	4 アルミニウム製建具	性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 図示による 外部に面する建具の種類 ※ 標準仕様書 表 16.2.1、表16.2.2)による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 遮音性の等級（ 表面処理 外部に面する建具（表 14.2.1） 種別 ※ B B-1種 ・ B B-2種 着色 ※ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具（表 14.2.1） 種別 ※ B C-1種 ・ B C-2種 着色 ※ 標準色 ・ 特注色 ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 結露水の処理方法 ・ 図示による ・ 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ 木下地の内付け建具 ・ 適用する（建具の製造所の仕様） ・ 適用しない			
15	1 ラス系下地	下地の種類 ・ 通気構法（ ・ 二層下地 ・ 単層下地） ・ 直張り工法 （ ・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地） ・ 図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気構法を行う場合） 材料 ラス材及び補強用プラス 材料記号（※ K ・ ） 種類及び単位面積当たりの質量 ・ 二層下地通気構法 ・ 波形ラス（W700） ・ こぶラス（K800） ・ カ骨付きラス（BP700） ・ 単層下地通気構法 ・ リプラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ・ ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分 ※ LS4（耐力壁の場合） ・ ステーブルの形状及び寸法 リプラス ※ L925TS以上（リプラスC（RC800）の場合） ・ 波形ラス ※ L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合） ・ 施工 二層下地通気構法 換気口部の措置 ※講ずる ・ 直張り工法（ラスシートモルタル下地の場合） 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による ・ 材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類（ ） 厚さ（ mm） せっこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm） 木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）	⑦ 仕上塗材仕上げ	⑧ 下地調整塗材 ※ JIS A 6916規格品 製造所 ※ 仕上塗材の製造所 工法 ※ こて ・ ローラー ・ 吹付け 施工箇所 外部打放し面（床版を除く）で薄付け仕上塗材、複層仕上塗材及び塗装等の下地 内部打放し面で薄付け仕上塗材、複層仕上塗材、塗装及びクロス等の下地 合成樹脂系シーラー ※ 仕上げ塗材全面				16	左官工事	⑨ 網戸等 6 樹脂製建具 性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による ・ 外部に面する建具の種類 ※ 標準仕様書 表 16.3.1、表16.3.2)による ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・ T-1種 ・ T-2種 ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ※ 外部に面する建具は標準仕様書 表 16.3.3)による（等級 ・ ・ 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ガラス ※ 複層ガラス ・ ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板 ・ 図示による ・ 木下地の内付け建具 ・ 適用する（建具の製造所の仕様） ・ 適用しない									
				2 セっこうボード、その他のボード下地 材料 せっこうボード、せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ せっこうボード 種類（ ） 厚さ（ mm） せっこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm） 木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）															
15	3 こまい下地	建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ なし ・ あり	⑦ 仕上塗材仕上げ	⑩ ラス系下地 ⑪ セルフレベリング材塗 ⑫ 目地 ⑬ 樹脂混入モルタル				16	左官工事	⑮ セルフレベリング材塗 ⑯ 目地 ⑰ 樹脂混入モルタル				16	左官工事	⑲ 鋼製建具 性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標準仕様書 表 16.4.1、による ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1)による） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ・ ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 点検口の類のくつずりの材料 鋼板類の厚さ (mm) ※ 標準仕様書 表 16.4.2)による ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 標準型鋼製建具の有効内法寸法（標準仕様書 表 16.4.5)による） ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による） ・ ① 有効内法寸法：800mm以上			
				4 木ずり下地 材料 木ずり用小幅板の材種 ※杉（心去り材） ・															
15	5 モルタル塗り	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所（ ） 形状（ ・ 図示 ・ ） ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける 目地割 ※ 2m2程度（最大目地間隔 3m程度） ・ 種類 ※ 押し目地 ・ ・ 設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない	⑦ 仕上塗材仕上げ	㉑ 鋼製建具 性能値等（建具符号は建具表による） 簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級 ※ 標準仕様書 表 16.4.1、による ・ 建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1)による） ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級（ ・ ・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ステンレス鋼板の種類 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ 点検口の類のくつずりの材料 鋼板類の厚さ (mm) ※ 標準仕様書 表 16.4.2)による ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL ・ 標準型鋼製建具の有効内法寸法（標準仕様書 表 16.4.5)による） ・ 適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による） ・ ① 有効内法寸法：800mm以上				16											

章		項 目		特 記 事 項		章		項 目		特 記 事 項																																									
20	ユニット及びその他工事	27	車止め支柱	<table><tr><th>形 式</th><th>材 種</th><th>柱径・肉厚 (mm)</th><th>高さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 上下式顔内蔵型 ○ 脱着式</td><td>○ 標準品 ・ スプリング式</td><td>○ ステンレス製 ・</td><td>○ φ60.5 1.5 t ○ 850 ・</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	・ 上下式顔内蔵型 ○ 脱着式	○ 標準品 ・ スプリング式	○ ステンレス製 ・	○ φ60.5 1.5 t ○ 850 ・	・				排水工事	21	排水工事	基礎の厚さ及び種類 ○ 図示による ・ 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ ゴム輪 側境の形状及び寸法 ○ 図示による ・ 排水樹の種類 ○ 図示による ・ 砂地案に用いる材料 ・ シルト ○ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂利地案に用いる材料 ○ 再生クラッシャー ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 ○ 現場打ちの場合のコンクリート材料 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm2 ○ 呼び スランプ ※ 15cm又は 18cm ○ 現場打ちの場合鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ・ 凍土抑制層に用いる材料 ・ 砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 標準仕様書 21.2.2(6) (オ) の排水樹を現場打ちとする場合の足掛け金物 ・ 幅 400mm、径 22mmのステンレス製 ・ 径 22mmの防錆処理を行った鋼製 ・ 径 19mmの成樹脂被覆加工を行ったもの																															
		形 式	材 種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																														
		・ 上下式顔内蔵型 ○ 脱着式	○ 標準品 ・ スプリング式	○ ステンレス製 ・	○ φ60.5 1.5 t ○ 850 ・																																														
		・																																																	
		28	フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ○ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス 高さ ・ 図示による ・																																															
		29	鋼製書架及び物品棚	<table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th><th>耐荷重による種類</th></tr><tr><td>・ 鋼製書架</td><td rowspan="2">JIS S 1039による</td><td>・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</td></tr><tr><td>・ 鋼製物品棚</td><td>・ 4種 ・ 5種 ・ 6種 ・</td></tr></table>	種 類	規格等	耐荷重による種類	・ 鋼製書架	JIS S 1039による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ 鋼製物品棚	・ 4種 ・ 5種 ・ 6種 ・																																							
		種 類	規格等	耐荷重による種類																																															
		・ 鋼製書架	JIS S 1039による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種																																															
		・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種 ・																																															
		30	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ○ ステンレス製 ○ 掲示板用クロス																																															
31	洗面カウンター	材種 ・ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・ 人工大理石 奥行 (mm) ・ 約450 ・ 約600																																																	
32	防煙垂れ壁	・ 固定式 <table><tr><th>材 質</th><th>厚 さ (mm)</th><th>高 さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※網入り磨き板ガラス</td><td>※ 6.8</td><td>※ 500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr><tr><td>・ 網入り磨き板ガラス</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>	材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	備 考	※網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き	・ 網入り磨き板ガラス	・	・																																						
材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	備 考																																																
※網入り磨き板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き																																																
・ 網入り磨き板ガラス	・	・																																																	
33	収納家具	材質形状・寸法 ※図示による 合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																																	
34	屋外掲示板（広場）	照明器具 ※有り 施設 ※有り																																																	
35	敷地境界石標	種類 ※コンクリートブロック製（市販品） ・ 花こう石類（文字記号等入り）																																																	
36	キャストابل耐火物	工法 ※こて押さえ 最高使用温度 ※ 400℃ 製造所 監督員の承諾する製造所																																																	
37	かぎ箱	市販品 形式 ・ 30組用 ○ 60組用×3 ・ 120組用																																																	
38	誘導路及び注意喚起用床材	屋内 ※ 塩化ビニル製 ・ 磁器又はせつ器質タイル（※ 300 ・ レジンコンクリート製 屋外 ※ レジンコンクリート製 ・ 磁器又はせつ器質タイル（※ 300 ・																																																	
39	フック	SUS製 TOTO株式会社 YKH20R 同等品以上																																																	
40	壁点検口	塩ビ製 創建 WH300-6 同等品以上 ○ 図示による																																																	
41	樹脂がミ	アルミ製樹脂複合板 東ブレ株式会社 SFシリーズ同等品以上																																																	
21	排水工事	1	屋外雨水排水	排水管用材料 <table><tr><th>材 種</th><th>種類・記号</th><th>形 状</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>外圧管 (1種)</td><td>・ B形管</td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>○ VP</td><td>○</td><td>○ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>○ VU</td><td>○</td><td>○ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手</td><td>・ RS-VU</td><td>・</td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・ DV</td><td>・</td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・ VU継手</td><td>・</td><td>・ 図示</td><td>・</td></tr></table>	材 種	種類・記号	形 状	呼び径	備考	・ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・ B形管	・ 図示	・	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP	○	○ 図示	・		○ VU	○	○ 図示	・	・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ RS-VU	・	・ 図示	・		・ DV	・	・ 図示	・		・ VU継手	・	・ 図示	・	22	舗装工事	① 路床 路床の材料 <table><tr><th>種 別</th><th>材 料</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td>○ 盛土</td><td>標準仕様書 表 3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 改良土</td><td>○ 図示</td></tr><tr><td>・ 凍土抑制層</td><td>※再生クラッシャー ・ クラッシャー ・ 切込み砂利 ・ 砂</td><td>・ 図示</td></tr></table> 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ○ 図示による 路床安定処理 ・ 適用する ○ 適用しない 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B種 ・ フライアッシュセメント B種 ・ 生石灰（ ・ 特号 ・ 1号） ・ 消石灰（ ・ 特号 ・ 1号） 添加量を定めるために用いる CBR（ ・ ） 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 路床締固め度の試験 (現場密度) 現場 CBR 試験	種 別	材 料	厚 さ (mm)	○ 盛土	標準仕様書 表 3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 改良土	○ 図示	・ 凍土抑制層	※再生クラッシャー ・ クラッシャー ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示
		材 種	種類・記号	形 状	呼び径	備考																																													
		・ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・ B形管	・ 図示	・																																													
		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP	○	○ 図示	・																																													
			○ VU	○	○ 図示	・																																													
		・ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ RS-VU	・	・ 図示	・																																													
			・ DV	・	・ 図示	・																																													
			・ VU継手	・	・ 図示	・																																													
		種 別	材 料	厚 さ (mm)																																															
		○ 盛土	標準仕様書 表 3.2.1により ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ 改良土	○ 図示																																															
・ 凍土抑制層	※再生クラッシャー ・ クラッシャー ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示																																																	
② 路盤	路盤の厚さ 路盤材料 ※再生クラッシャー ※再生粒度調整砕石 ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																		
③ アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示による 材料 アスファルト ※再生アスファルト（ ・ 60～80 ・ 80～100） ・ ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物の種類 <table><tr><th>区 分</th><th>地 域</th><th>種 類</th></tr><tr><td rowspan="2">表層</td><td>○ 一般地域</td><td>○ 密粒度アスファルト混合物 (I3) ・ 細粒度アスファルト混合物 (I3)</td></tr><tr><td>・ 寒冷地域</td><td>・ 密粒度アスファルト混合物 (I3F)</td></tr></table> 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度	区 分	地 域	種 類	表層	○ 一般地域	○ 密粒度アスファルト混合物 (I3) ・ 細粒度アスファルト混合物 (I3)	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (I3F)																																										
区 分	地 域	種 類																																																	
表層	○ 一般地域	○ 密粒度アスファルト混合物 (I3) ・ 細粒度アスファルト混合物 (I3)																																																	
	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (I3F)																																																	
④ コンクリート舗装	コンクリート舗装の厚さ <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部 位</th><th>構 成</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート舗装</td><td>歩行者用通路</td><td>○ 図示</td><td>※ 70 ○ 図示</td></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>○ 図示</td><td>○ 図示</td></tr></table> 材料 コンクリート ※普通コンクリート、標準仕様書 表 22.5.1による ○ 図示による 早強ポルトランドセメント 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 施工・目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表 22.5.3及び図 22.5.1による ・ 図示による 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ・ 加熱系カラー舗装 構成・厚さ 表層に用いる加熱系混合物の結合材 ・ アスファルト混合物 ・ 石油樹脂系混合物 顔料の添加量（ ・ %） 加熱系混合物に添加する材料 ・ 着色骨材（ ・ ） ・ 自然石（ ・ ） アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない ・ 常温系カラー舗装 工法 着色部の下部 ニート工法及び塗布工法の配合等 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・	舗装の種類	部 位	構 成	厚 さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	○ 図示	※ 70 ○ 図示	車路及び駐車場	○ 図示	○ 図示																																							
舗装の種類	部 位	構 成	厚 さ (mm)																																																
コンクリート舗装	歩行者用通路	○ 図示	※ 70 ○ 図示																																																
	車路及び駐車場	○ 図示	○ 図示																																																
5	カラー舗装	カラー舗装の材料 ・ シルト ○ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 砂利地案に用いる材料 ○ 再生クラッシャー ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 砂利地案の厚さ ※ 100 (mm) ○ 現場打ちの場合のコンクリート材料 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm2 スランプ ※ 15cm又は 18cm ○ 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295 ・ 凍土抑制層に用いる材料 ・ 砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない ※ B種（標準仕様書 表 3.2.1） ○ 改良土 ○ φ22 ステンレス製（w＝400）現場打（貯留槽） ○ φ19 合成樹脂被覆加工 内法が600mmを超え、かつ、深さ1.2mをこえる排水樹には、足掛け金物を取り付ける。																																																	
6	透水性アスファルト舗装	舗装の構成 ※ 図示による ・ 材料 アスファルト ※再生アスファルト（ ・ 60～80 ・ 80～100） ・ ストレートアスファルト 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 路床締固め度の試験 (現場密度) 現場 CBR 試験																																																	
7	ブロック系舗装	ブロック系舗装の材料 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B種 ・ フライアッシュセメント B種 ・ 生石灰（ ・ 特号 ・ 1号） ・ 消石灰（ ・ 特号 ・ 1号） 添加量を定めるために用いる CBR（ ・ ） 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 路床締固め度の試験 (現場密度) 現場 CBR 試験																																																	
8	砂利敷き	砂利敷きの材料 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B種 ・ フライアッシュセメント B種 ・ 生石灰（ ・ 特号 ・ 1号） ・ 消石灰（ ・ 特号 ・ 1号） 添加量を定めるために用いる CBR（ ・ ） 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 路床締固め度の試験 (現場密度) 現場 CBR 試験																																																	
9	路面表示用塗料	路面表示用塗料の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (I3) ・ 細粒度アスファルト混合物 (I3) ・ 密粒度アスファルト混合物 (I3F)																																																	
22	植栽及び屋上緑化工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
23	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
24	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
25	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
26	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
27	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
28	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
29	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
30	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類 ・	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													
		2	植栽基盤の整備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		3	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		4	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		5	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		6	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		7	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
		8	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																															
9	植栽基盤の排水設備	植栽基盤の排水設備 (暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける（ ・ 図示 ・ 設けない																																																	
31	万崎建替公営住宅第二期建設工事	1	植栽地の確保等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ○ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ○ 行わない 整備内容 <table><tr><th>植 栽</th><th>工 法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲 (面積)</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>○ 樹木</td><td>※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種</td><td>樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)</td><td>・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示</td><td>○ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> ※ 芝、地被類	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材	○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																					
		植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲 (面積)	土壌改良材																																													
		○ 樹木	※ A種 ・ B種 ○ C種 ・ D種	樹高 12m以上 (※ 100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m以上～ 12m未満 (※ 80 ・ 100) 樹高 3m以上～ 7m未満 (※ 60 ・ 80) 樹高 3m未満 (※ 50 ○ 60)	・ 実張り部分 ・ 植栽部分 ○ 図示	○ 適用する ・ 適用しない																																													



凡例 (山留め)

[a] 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅲ型 自立型)
計L=22.2m、山留め高さ: H=7.0m・5.0m
[b] 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅴ-L型 自立型)
計L=46.0m、山留め高さ: H=10.0m

[c] 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅲ型 切梁1段)
計L=69.1m、山留め高さ: H=8.5m
[d] 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅳ型 自立型)
計L=142m、山留め高さ: H=10.5m・10.0m

※1: 山留めの引掛金具を含む。
※2: 排水管等埋設物新設に際し、山留め設置のこと。その際は、仮設計画図の段階を考慮すること。
※3: 上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

共通凡例		工事対象外範囲を示す。
		雨水貯留槽 必要貯留容量 420m ³ ≤ 計画貯留量 424m ³ [(北) 236m ³ + (南) 188m ³]
		防火水 Tank 容量 40 t 2基 36,491.02 (m ³) / 10,000m ³ ≈ 計4基必要 一期: 1基、二期: 2基、三期: 1基
		外灯設備 新設
		各既設灯 敷地内側へ移設
		既設柱 (※南側の移設済み関西電力柱含む。)
		構内関西電力柱 新設
		ハンドボール
		埋設槽 (コンクリート製)
		仕切弁
別途設備工事		散水栓
		消防隊専用排水口 (バルブユニット共)
		塩ビ製小口径樹・インバート樹
		表示ピン (左: 鋼鉄製 右: 樹脂製)
		消火栓
別途設備工事		量水器
		汚水樹

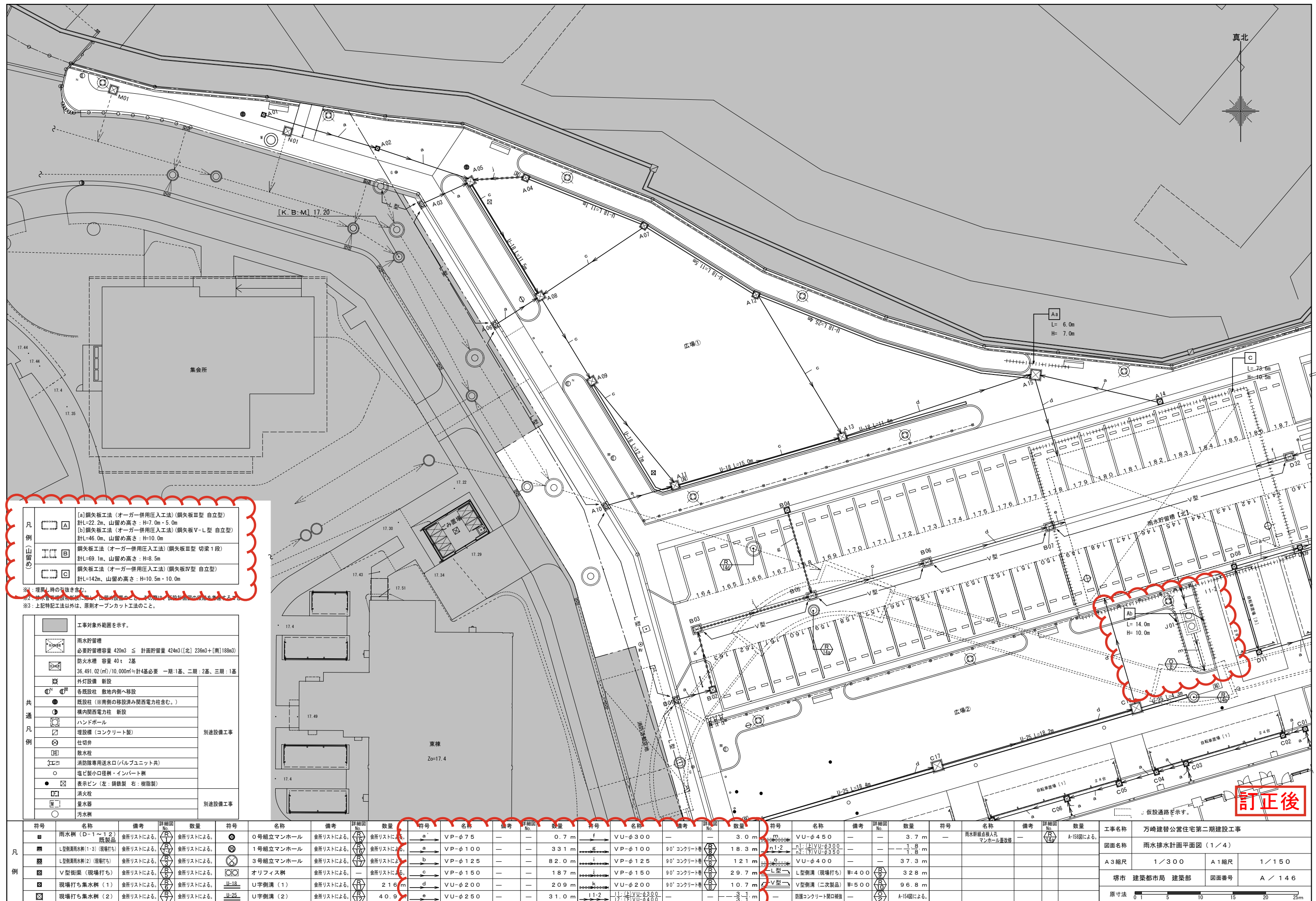
凡例	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量
凡例		雨水樹 (D=1~1.2) 既製品	会所リストによる。	R-1	1		0号組立マンホール	会所リストによる。	R-2	1		1号組立マンホール	会所リストによる。	R-3	1		3号組立マンホール	会所リストによる。	R-4	1		オリフィス樹	会所リストによる。	R-5	1
		L型側溝雨水樹 (1・3) (現場打ち)	会所リストによる。	R-6	1		U字側溝 (1)	会所リストによる。	R-7	1		U字側溝 (2)	会所リストによる。	R-8	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-9	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-10	1
		L型側溝雨水樹 (2) (現場打ち)	会所リストによる。	R-11	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-12	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-13	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-14	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-15	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-16	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-17	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-18	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-19	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-20	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-21	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-22	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-23	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-24	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-25	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-26	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-27	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-28	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-29	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-30	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-31	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-32	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-33	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-34	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-35	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-36	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-37	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-38	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-39	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-40	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-41	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-42	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-43	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-44	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-45	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-46	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-47	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-48	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-49	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-50	1
訂正後		雨水樹 (D=1~1.2) 既製品	会所リストによる。	R-1	1		0号組立マンホール	会所リストによる。	R-2	1		1号組立マンホール	会所リストによる。	R-3	1		3号組立マンホール	会所リストによる。	R-4	1		オリフィス樹	会所リストによる。	R-5	1
		L型側溝雨水樹 (1・3) (現場打ち)	会所リストによる。	R-6	1		U字側溝 (1)	会所リストによる。	R-7	1		U字側溝 (2)	会所リストによる。	R-8	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-9	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-10	1
		L型側溝雨水樹 (2) (現場打ち)	会所リストによる。	R-11	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-12	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-13	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-14	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-15	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-16	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-17	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-18	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-19	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-20	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-21	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-22	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-23	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-24	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-25	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-26	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-27	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-28	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-29	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-30	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-31	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-32	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-33	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-34	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-35	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-36	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-37	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-38	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-39	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-40	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-41	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-42	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-43	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-44	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-45	1
		V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R-46	1		V型側溝 (1)	会所リストによる。	R-47	1		V型側溝 (2)	会所リストによる。	R-48	1		V型側溝 (3)	会所リストによる。	R-49	1		V型側溝 (4)	会所リストによる。	R-50	1

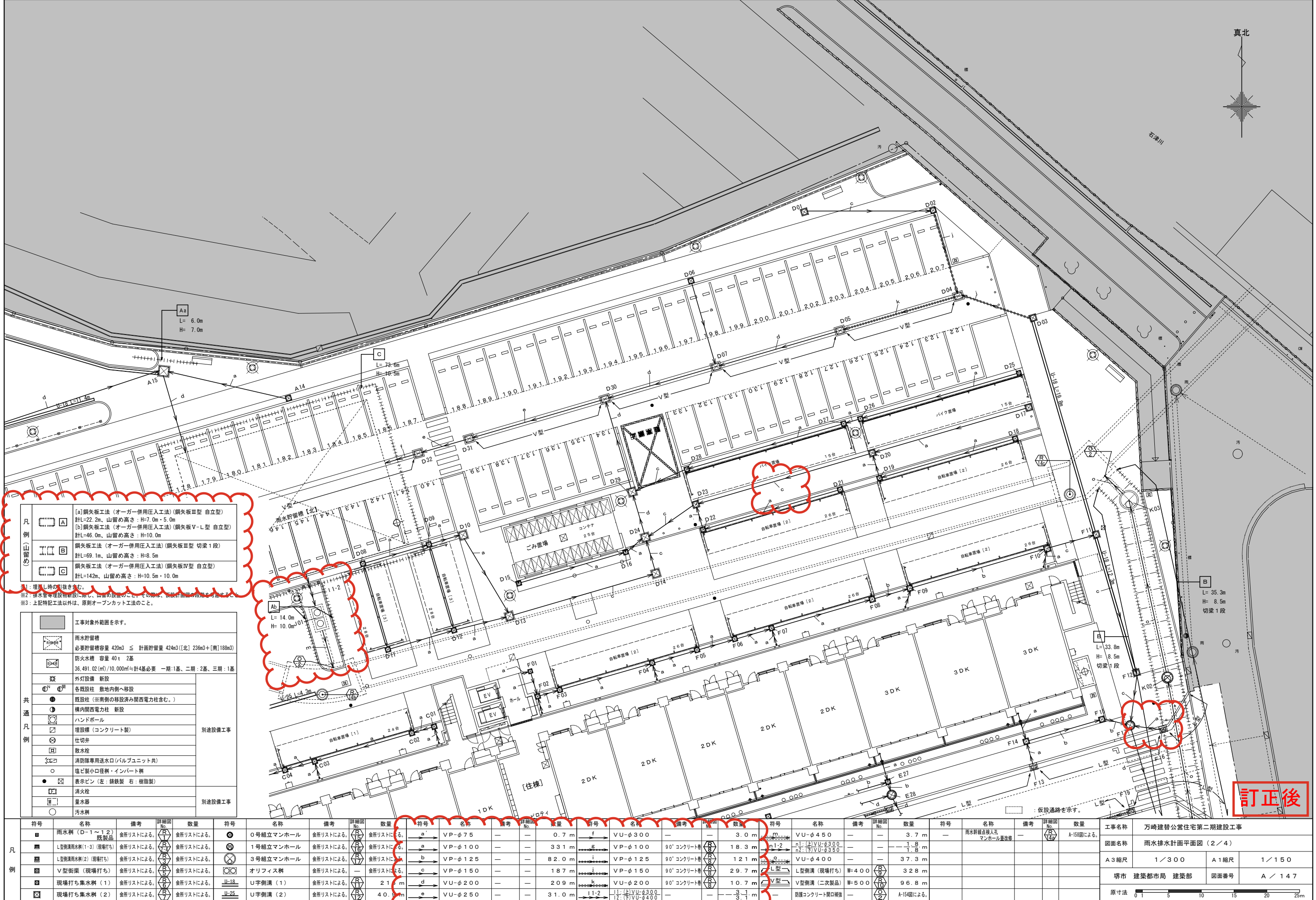
A) 東側道路沿い平面図
S=1/150

訂正後

仮設道路を示す。

工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事
図面名称	雨水排水計画平面図 (全体)
A3縮尺	1/300 1/500 A1縮尺 1/150 1/250
堺市 建築都市局 建築部	図面番号 A / 145
原寸法	0 1 5 10 15 20 25m





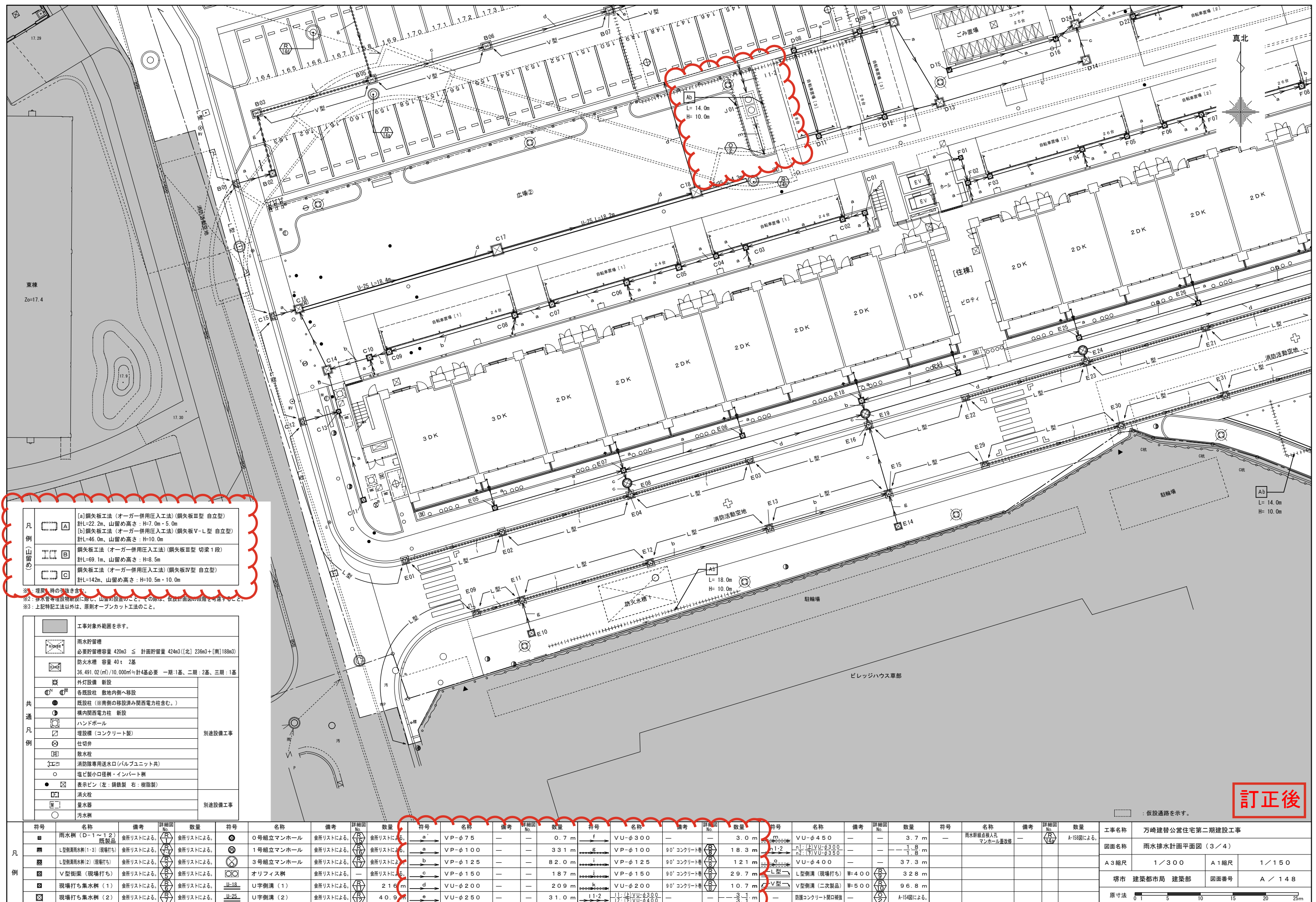
凡例	(山留め)	[a] 鋼矢板工法（オーガー併用圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 自立型） 計L=22.2m、山留め高さ：H=7.0m・5.0m [b] 鋼矢板工法（オーガー併用圧入工法）（鋼矢板Ⅴ-L型 自立型） 計L=46.0m、山留め高さ：H=10.0m
	[B]	鋼矢板工法（オーガー併用圧入工法）（鋼矢板Ⅲ型 切梁1段） 計L=69.1m、山留め高さ：H=8.5m
	[C]	鋼矢板工法（オーガー併用圧入工法）（鋼矢板Ⅳ型 自立型） 計L=142m、山留め高さ：H=10.5m・10.0m

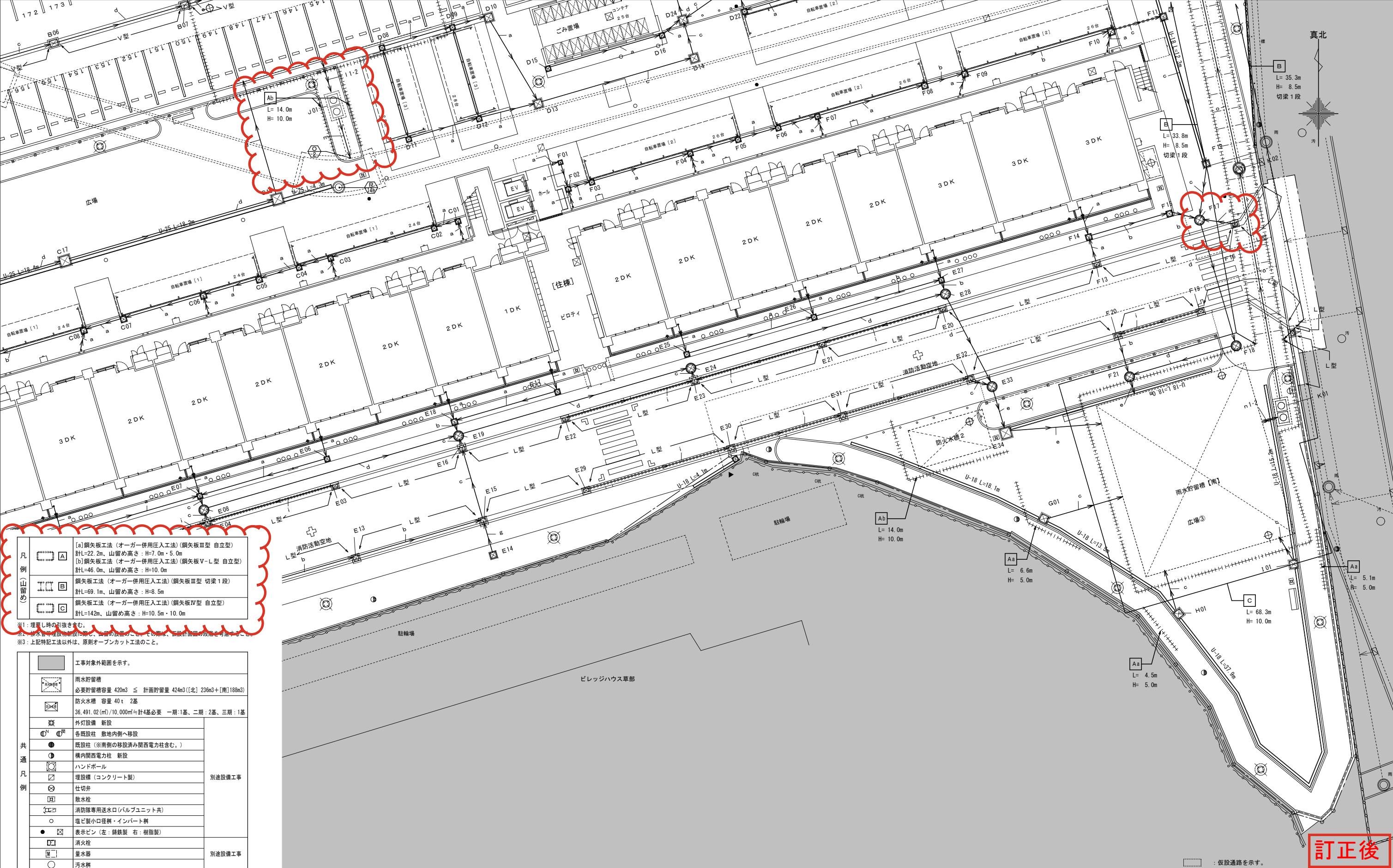
※1：埋し時の引抜き含む。
※2：排水管等埋設物新設に際し、山留め設置の可否、その位置、及び計画図の図示と相違する。
※3：上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

工事対象外範囲を示す。	
雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m ³ ≤ 計画貯留量 424m ³ （〔北〕236m ³ ＋〔南〕188m ³ ）	
防火水槽 容量 40 t 2基 36,491.02 (m ³)/10,000m ² ≒計4基必要 一期：1基、二期：2基、三期：1基	
外灯設備 新設	
既設柱 敷地内側へ移設	
埋設柱（※南側の移設済み関西電力柱含む。）	
構内関西電力柱 新設	
ハンドポール	
埋設槽（コンクリート製）	
仕切弁	
散水栓	
消防隊専用送水口（バルブユニット共）	
塩ビ製小口径樹・インバート樹	
表示ピン（左：鋼鉄製 右：樹脂製）	
消火栓	
量水器	
汚水樹	

符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	工事名称			
☐	雨水樹（D-1～12）既製品	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊙	0号組立マンホール	会所リストによる。	R	会所リストによる。	a'	VP-φ75	—	—	0.7 m	f	VU-φ300	—	B	3.0 m	m	VU-φ450	—	—	3.7 m	—	万崎建替公営住宅第二期建設工事		
⊗	L型側溝雨水樹（1・3）（現場打ち）	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	1号組立マンホール	会所リストによる。	R	会所リストによる。	a	VP-φ100	—	—	331 m	e	VP-φ100	90°コンクリート巻	B	18.3 m	n1-2	n1: L VU-φ300 n2: F VU-φ350	—	—	1.8 m	—	図面名称		
⊗	L型側溝雨水樹（2）（現場打ち）	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	3号組立マンホール	会所リストによる。	R	会所リストによる。	b	VP-φ125	—	—	82.0 m	i	VP-φ125	90°コンクリート巻	B	1.21 m	—	VU-φ400	—	—	37.3 m	—	雨水幹線高移入孔マンホール蓋改修		
⊗	V型街渠（現場打ち）	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	オリフィス樹	会所リストによる。	—	会所リストによる。	c	VP-φ150	—	—	187 m	j	VP-φ150	90°コンクリート巻	B	29.7 m	L型	L型側溝（現場打ち）	W=400	B	32.8 m	—	A3縮尺		
⊗	現場打ち集水樹（1）	会所リストによる。	R	会所リストによる。	U-18	U字側溝（1）	会所リストによる。	R	21.1 m	d	VU-φ200	—	—	209 m	k	VU-φ200	90°コンクリート巻	B	10.7 m	V型	V型側溝（二次製品）	W=500	B	96.8 m	—	1縮尺		
⊗	現場打ち集水樹（2）	会所リストによる。	R	会所リストによる。	U-25	U字側溝（2）	会所リストによる。	R	40.9 m	e	VU-φ250	—	—	31.0 m	11-2	11: L VU-φ300 12: F VU-φ400	—	B	3.1 m	—	防護コンクリート開口補強	—	B	A-154図による。	—	図面番号		
																								原寸法	0 1 5 10 15 20 25m			
																								A / 147				

訂正後





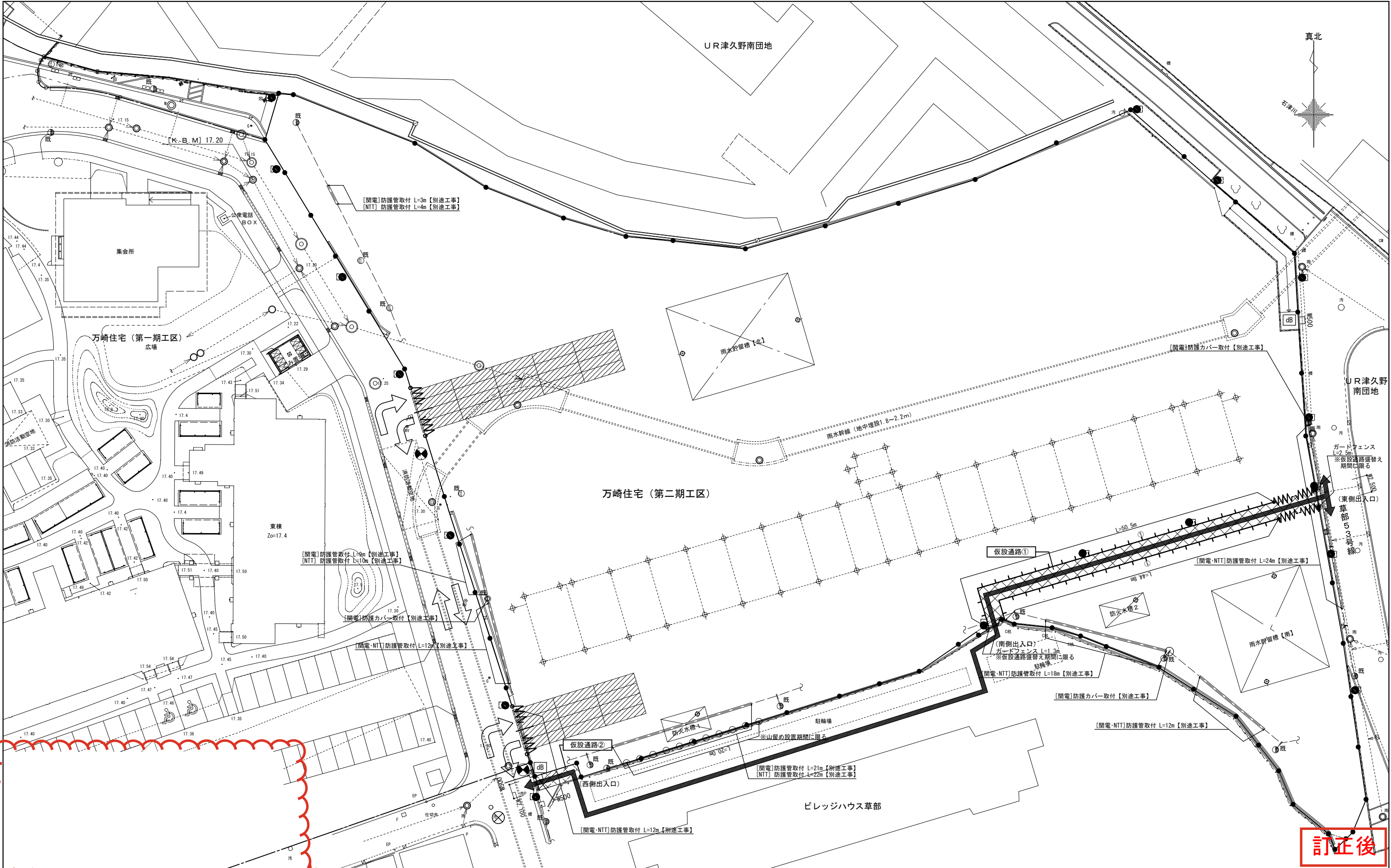
- 凡例 (山留め)
- [a] 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅲ型 自立型)
計L=22.2m、山留め高さ: H=7.0m・5.0m
 - [b] 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅴ-L型 自立型)
計L=46.0m、山留め高さ: H=10.0m
 - 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅲ型 切梁1段)
計L=69.1m、山留め高さ: H=8.5m
 - 鋼矢板工法 (オーガー併用圧入工法) (鋼矢板Ⅳ型 自立型)
計L=142m、山留め高さ: H=10.5m・10.0m

※1: 埋戻し時の引抜き含む。
※2: 雨水貯留槽の設計に際して、山留めの位置と必要掘削深さを決定する。
※3: 上記特記工法以外は、原則オープンカット工法のこと。

共通凡例		工事対象外範囲を示す。
		雨水貯留槽 必要貯留槽容量 420m ³ ≤ 計画貯留量 424m ³ 〔北〕236m ³ +〔南〕188m ³ 〕
		防火水槽 容量 40 t 2基 36,491.02 (m ³) / 10,000m ³ ≒ 計4基必要 一期:1基、二期:2基、三期:1基
		外灯設備 新設
		各既設柱 敷地内側へ移設
		既設柱 (※南側の移設済み関西電力柱含む。)
		構内関西電力柱 新設
		ハンドポール
		埋設樁 (コンクリート製)
		仕切弁
別途設備工事		散水栓
		消防隊専用排水口 (バルブユニット共)
		塩ビ製小口径樹・インバート樹
		表示ピン (左: 鋼鉄製 右: 樹脂製)
		消火栓
別途設備工事		量水器
		汚水樹

凡例	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	符号	名称	備考	詳細図 No.	数量	工事名称	万崎建替公営住宅第二期建設工事							
	⊗	雨水樹 (D=1~1.2) 既製品	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	0号組立マンホール	会所リストによる。	R	会所リストによる。	a'→	VP-φ75	—	—	0.7 m	f→	VU-φ300	—	—	3.0 m	m→	VU-φ450	—	—	3.7 m	—	雨水幹線点検投入孔 マンホール蓋改修	—	R	A-158図による。	図面名称	雨水排水計画平面図 (4/4)		
	⊗	L型側溝雨水樹 (1-3) (現場打ち)	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	1号組立マンホール	会所リストによる。	R	会所リストによる。	a→	VP-φ100	—	—	3.31 m	e→	VP-φ100	90°コンクリート巻	B	18.3 m	n1: L型 VU-φ300 n2: L型 VU-φ350	—	—	1.8 m	—	—	—	—	—	A3縮尺	1/300	A1縮尺	1/150	
	⊗	L型側溝雨水樹 (2) (現場打ち)	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	3号組立マンホール	会所リストによる。	R	会所リストによる。	b→	VP-φ125	—	—	8.20 m	i→	VP-φ125	90°コンクリート巻	B	12.1 m	—	—	37.3 m	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	⊗	V型側溝 (現場打ち)	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	オリフィス樹	会所リストによる。	—	—	c→	VP-φ150	—	—	1.87 m	j→	VP-φ150	L型側溝 (現場打ち)	B	29.7 m	L型	—	—	3.28 m	—	W=400	R	—	—	—	—	—	—	
	⊗	現場打ち集水樹 (1)	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	U字側溝 (1)	会所リストによる。	R	216 m	d→	VU-φ200	—	—	2.09 m	k→	VU-φ200	90°コンクリート巻	B	10.7 m	V型	—	—	96.8 m	—	W=500	R	—	—	—	—	—	—	
	⊗	現場打ち集水樹 (2)	会所リストによる。	R	会所リストによる。	⊗	U字側溝 (2)	会所リストによる。	R	40.9 m	e→	VU-φ250	—	—	31.0 m	l1-2→	11: L型 VU-φ300 12: L型 VU-φ400	—	—	3.1 m	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
																										堺市 建築部 都市局 建築部	図面番号	A / 149						
																										原寸法	0 1 5 10 15 20 25m							

会所リスト																	会所リスト																	
系統	樹番号	樹間 No.	樹天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	樹底高 (m)	樹深さ (H) (m)	樹底-管底 (m)	樹 仕 様	樹 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	樹間距離 (m)	配管勾配 (0/00)	パイプ番号 仕様	備 考	系統	樹番号	樹間 No.	樹天端高 (m)	流入管底高 (m)	流出管底高 (m)	樹底高 (m)	樹深さ (H) (m)	樹底-管底 (m)	樹 仕 様	樹 蓋 仕 様	流入管径 (φ)	流出管径 (φ)	樹間距離 (m)	配管勾配 (0/00)	パイプ番号 仕様	備 考	
A	A 0 1		17.080	—	16.760	16.550	0.420	0.100	雨水樹 (D-1) [既製品] □300×300×H420	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	R 6	[第1樹]	D 0 5	D04 → D05	16.980	16.240	16.230	16.080	0.900	0.150	V型街渠樹 (現場打ち) □650×500×H900	鉄製Vφグレーチング蓋 [T-6]	VUφ200	VUφ200	11.288	1/100	R 6	流入管: 根巻補強 90°		
	A 0 2	A01 → A02	17.065	16.654	16.640	16.465	0.600	0.175	雨水樹 (D-2) [既製品] □300×300×H600	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	10.600	1/100	R 2	A04 流入管: 根巻補強 90°	D 0 6		17.166	—	16.676	16.476	0.690	0.200	雨水樹 (D-4) [既製品] □350×350×H690	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	—	—	R 6	
	A 0 3		17.086	—	16.586	16.486	0.600	0.100	L型側溝雨水樹 (1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋 [T-2 5] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R 2		D 0 5	D06 → D07	17.011	16.111	16.061	15.811	1.200	0.250	V型街渠樹 (現場打ち) □650×500×H1.200	鉄製Vφグレーチング蓋 [T-6]	VUφ200	VUφ200	11.830	1/100	R 5			
	A 0 4		17.200	16.548	16.750	16.600	0.600	0.150	現場打ち集水樹 (1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋 [T-6] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R 6		D 0 6		17.320	—	17.020	16.830	0.490	0.190	雨水樹 (D-3) [既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	—	—	R 6	[第1樹]
	A 0 5	A03 → A05	17.123	16.536	16.448	16.223	0.900	0.225	現場打ち集水樹 (1) □600×600×H900	鋼製グレーチング蓋 [T-6] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	VPφ100	VPφ150	4.903	1/100	R 6	D 0 8		17.320	16.957	16.947	16.830	0.490	0.117	雨水樹 (D-3) [既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	6.300	1/100	R 6				
	A 0 6		17.120	16.698	16.620	16.520	0.600	0.100	L型側溝雨水樹 (1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋 [T-2 5] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R 2	[第1樹]	D 0 9	D08 → D09	17.320	16.957	16.947	16.830	0.490	0.117	雨水樹 (D-3) [既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	6.300	1/100	R 6			
	A 0 7		17.215	16.698	16.765	16.615	0.600	0.150	現場打ち集水樹 (1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋 [T-6] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	—	VPφ150	—	—	R 6	[第1樹]	D 1 0	D09 → D10	17.330	16.915	16.880	16.730	0.600	0.150	現場打ち集水樹 (1) □450×450×H600	鋼製グレーチング蓋 [T-2] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	VPφ100	VPφ100	3.145	1/100	R 6			
	A 0 8	A05	17.180	16.324	16.571	16.130	1.050	0.180	現場打ち集水樹 (1) □600×600×H1.050	鋼製グレーチング蓋 [T-6] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	VPφ150	VPφ150	12.337	1/100	R 6	[第1樹]	D 1 1		17.265	—	16.965	16.775	0.490	0.190	雨水樹 (D-3) [既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	—	VPφ100	—	—	—	—	R 6	[第1樹]
	A 0 9	A06 → A08	17.200	16.571	16.310	16.130	1.050	0.180	現場打ち集水樹 (1) □600×600×H1.050	鋼製グレーチング蓋 [T-6] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	VPφ150	VPφ150	11.546	1/100	R 6	D 1 2	D11 → D12	17.265	16.902	16.892	16.775	0.490	0.117	雨水樹 (D-3) [既製品] □350×350×H490	コンクリート蓋	VPφ100	VPφ100	6.300	1/100	R 6				
	A 1 0		17.173	16.606	16.673	16.573	0.600	0.100	L型側溝雨水樹 (1) (現場打ち) □400×300×H600	鋼製グレーチング蓋 [T-6] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	—	VPφ100	—	—	R 2	[第1樹]	D 1 3	D10 → D13	17.290	16.793	16.840	16.540	0.750	0.150	現場打ち集水樹 (1) □600×600×H750	鋼製グレーチング蓋 [T-2] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	VPφ100	VPφ150	8.669	1/100	R 6			
	A 1 1	A09 → A11	17.250	16.088	16.070	15.900	1.350	0.170	現場打ち集水樹 (2) □800×800×H1.350	鋼製グレーチング蓋 [T-6] (溶融亜鉛メッキ・縦目ノンスリップ)	VPφ150																							



共通凡例	仮囲い：万能鋼板 H=3.0m L=460m (存置) + 防音シート H=1.8mm L=487m (新設) 万能鋼板 H=3.0m L=27.2m (盛替) + 防音シート H=1.8mm L=20.0m (撤去・新設)			
	仮囲い：ガードフェンス H=1.8m 範囲 仮設道路①出入口：L=1.3m+2.5m 計3.8m (新設) 山留め範囲：L=20.0m (新設)			
	パネルゲート (W7.2m×H4.5m) 計1箇所 (存置) 計1箇所 (盛替) ※敷地北側ゲートを南側に盛替え			
	工事車両通行経路 安全監視員 (常駐) 計7人 安全監視員 (スポット) 計50人 防犯灯 (存置) 防犯灯 計4箇所 (存置)【別途工事】			
	騒音振動表示装置 計2箇所 (新設) ※記録装置付 クリアパネル H=3.0m 計3箇所 (存置) 仮設道路① 計137㎡ (盛替) ※砕石 撤去・新設 仮設道路② 計13.3㎡ (存置)			
設備凡例	仮設道路部ガードフェンス H=1.8m L=95.3m (盛替) パネルキャストゲート (W6.3m×H2.0m) 計2箇所 (盛替) 仮設道路歩行者経路 養生鉄板 (1,524×6,096×t22) 334㎡ (新設)			
	既設電力柱を示す 移設対象関西電力柱及びNTT柱を示す			
	【特記事項】 ・ガードフェンスは、単管下地にて控え設置の上、上部養生シート、下部足場板による塞ぎとすること。			
	工事名称 万崎建替公営住宅第二期建設工事 図面名称 【参考】仮設計画図 (STEP1) A3縮尺 1/500 A1縮尺 1/250 堺市 建築都市局 建築部 図面番号 A/163 原寸法 0 1 5 10 15 20 25m			
	訂正後			

